

フォークリフト・特殊車両用
Wi-Fi 通信対応ドライブレコーダー

PRO-WITNESS II

取付・取扱・ビューワソフト説明書



目次

	ページ
◆ 安全にお使いいただくために（警告事項・注意事項・ご使用上の注意）	1～2
◆ PRO-WITNESS II 商品特長	3
◆ 構成部品	4～5
機器を取り付ける	
◆ 取り付け前の注意事項	6
◆ ①取り付け（設置）場所を決める	6～7
◆ ②取り付け準備をする	7
◆ ③配線・接続・取り付ける（配線図）	8～10
◆ 本体の取り付け	11～14
◆ カメラの取り付け・角度調整	15～16
◆ ④専用SDカードを挿入する（挿入・取り出し方法）	17～18
◆ ⑤本体設置位置の校正（手動校正）をする	19
本体を起動する	
◆ 本体の起動（本体）（インジケータユニット・DC-DC）	20～21
映像を録画する	
◆ 映像ファイルの録画	22～23
ソフトをインストールする	
◆ 専用ビューワソフトのパソコン動作環境条件	24
◆ 専用ビューワソフトのインストール方法	24～25
◆ 自動更新機能	26
SDカードを設定する	
◆ SDカードの設定・保存方法	27～37
映像を再生する	
◆ 専用ビューワソフトの基本機能説明	38～46
◆ 映像データの再生	47～49
映像を保存する	
◆ 保存先指定	50
◆ 映像データの保存（通常ファイル）	51
◆ 映像データの保存（保存範囲の指定ファイル・再生中の1ファイル）	52
◆ 映像データの保存（スナップ写真/静止画・全データ）	53
SDカードをフォーマットする	
◆ SDカードの専用フォーマット方法	54～55
映像を管理する	
◆ 安全稼働レポート	56～57
◆ 車両稼働レポート	58
◆ 製品仕様	59～61
◆ 困ったときには	62～63
◆ アフターサービス・製品保証書	64～65

安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この取扱説明書における警告事項・注意事項・ご使用上の注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ◎ **警告事項** ◎ この警告を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
- ◎ **注意事項** ◎ この注意を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物の損害の可能性がある内容を示しています。

◎ 警告事項 ◎

- * 本製品はDC12V車・24V車専用です。DC12V・24V車以外で使用しないでください。火災や故障などの原因となります。DC48V以上でご使用される場合は、専用DC-DC(オプション)をご使用ください。
- * ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（3A250V）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると発煙・発火・故障の原因となります。
- * 本製品を前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキなどの運転操作を妨げる場所および危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。事故や怪我の原因となります。
- * 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接続することがないように注意してください。パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となります。
- * コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。配線は高熱部を避けて行ってください。コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。
- * 本製品を分解・修理、及び改造はしないでください。(防水防塵保証も出来なくなります)電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは、絶対にしないでください。電源コードの電流容量がオーバーし、火災や感電、故障の原因となります。
- * コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープでしっかり固定してください。コード類が車体部分と接触することにより、擦り切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
- * 車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないようにしっかり締めてください。事故や故障の原因となります。
- * 正規の接続を守って取り付けを行ってください。取り付けする前に、配線コードの定義や内容をよく理解してから取り付けを行ってください。誤った接続をすると、事故や火災の原因となります。
- * 本製品は、取扱説明書に従って正しく取り付け・取り扱いを行ってください。誤った取り付けは事故やけがの原因となります。走行中に本体やインジケータユニットのLEDなどを注視したり、本製品を操作しないでください。
- * 本製品の動作確認のために急発進や急ブレーキ・急ハンドルなどの危険な運転はやめてください。それによって生じた損害について弊社は一切責任を負いません。

◎ 注意事項 ◎

- * 必ず付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部部品の損傷や本製品が固定されず落下する危険性があります。火災や事故の原因となります。
- * 本製品に、強い力や衝撃を与えたり、落としたり、上に重いものを載せたりしないでください。火災、故障の恐れがあります。
- * 本製品の取り付け・配線・移設作業は、安全の為必ず専門の知識と経験を持った人が行うようにしてください。取り付ける車両に応じて、配線箇所などは車両ディーラーに必ずご確認ください。事故や火災、感電や故障の原因となります。
- * 両面テープで取り付ける場合は、取り付け場所の汚れや油分・水滴などをきれいに拭き取ってください。拭き取りが不十分な場合、走行時の振動で機器が外れて運転の妨げとなり、事故や怪我の原因となります。
- * 本体は、直射日光が当たるところには取り付けしないでください。本体が高温になり、火傷をする可能性があります。
- * 本製品(本体、コードなど)を水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性の薬品類や磨き砂などが配合された洗剤などで拭かないでください。変形や変質、破損、キズの原因となります。
- * 本体・カメラやインジケータユニットなどは、定期的に点検してください。取り付けネジの緩みや貼り付けした部分が剥がれていないことを確認してください。取り付けネジの緩みがある場合は、締め直してください。走行時の振動で、本体が外れて視界や運転の妨げとなり、事故や怪我の原因となることがあります。
- * ほこり、油煙の多いところへ取り付けしないでください。本製品にほこり、油煙が混入しますと、発煙・発火、故障の原因となることがあります。

◎ ご使用上の注意 ◎

- * 弊社の製品は、車載用ドライブレコーダーで、長時間連続稼働する防犯カメラ仕様にはなっていません。
必ず、電源のON/OFFを24時間以内に行ってください。
- * GPS電波はご使用条件（屋内など）により、受信しにくい場合や受信できない場合があります。
- * 本製品は、GPSによってスピード（速度）を算出しております。低速走行やGPSの受信状況によって、スピード（速度）に誤差が生じたり、スピード（速度）算出が状況によっては正常に表示できない場合があります。
また、地図表示も走行軌跡が途切れたり、同じ場所での動きとなるため、判りにくい表示となる場合があります。
- * GPS受信環境にない場合、定期的に製品の日時を確認してください。日時がずれている場合は、SDカードの設定画面で、日時の手動設定を行ってください。
- * LED式信号機が点滅で撮影される場合や状況によって信号の色が識別できない場合があります。
それによって生じた損害について 弊社は一切責任を負いません。
- * SDカードにドライブレコーダーで記録されているデータ以外を保存しないでください。正しく映像が記録されていないことがあります。
- * カメラのレンズ部分が汚れている場合、記録した映像が見つらなくなることがありますので、
定期的を確認し、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると、キズの原因となります。
鮮明な映像が記録されるように、少なくとも月に一度はカメラレンズ表面を清掃してください。
- * 走行中にはずれたり、落下することのないように、しっかりと取り付け、定期的に取り付部分の点検を行ってください。
- * 直射日光が当たった場合などは、本体の金属部分が高温になりますので触らないでください。
- * 本製品は、危険運転時の状況を記録することを目的としています。イタズラその他の目的には使用しないでください。
- * 本製品は、常時録画・録音で映像と音声を記録する装置ですが、すべての状況において映像と音声を記録することを保証するものではありません。
- * 本製品は、事故・防犯などの検証に役立つことを目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- * 何らかの要因で映像や音声記録されなかった場合、または記録された映像や音声データが破損していた場合による損害、本製品の故障や本製品を使用することによって生じた損害について、弊社は一切責任をおいしません。
- * 使用中の事故などの損傷による製品の変形、データの紛失、この製品の使用中による他の損傷は、製造会社としての責任は負いかねます。
- * 本製品で記録した映像や音声データは、その使用目的や使用方法によっては被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますので、ご注意ください。個人情報保護法に基づいて、取得された映像・音声データは第三者に漏洩することがないようにしてください。
- * 本製品は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- * 防爆仕様のフォークリフトには対応していません。
- * 紛失等による付属品の追加購入や別売品のご購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。
- * 本製品等の仕様および外観は、改良・改善等のため予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- * メモリーカードは消耗品です。
ご使用環境によりませんが、1年毎（推奨）に定期的買い替えをしてご使用ください。
- * 機器、ビューワソフト（映像再生ソフト）すべての著作権は、株式会社ドライブ・カメラに帰属します。
- * 車両バッテリーの充電は、機器本体の電源が必ず切れている（OFFになっている）ことを確認した上で行ってください。
充電中は電源を入れないでください。機器の故障の原因となります。

PRO-WITNESS II 商品特長

PRO-WITNESS II は、フォークリフト・特殊車両用 Wi-Fi通信対応ドライブレコーダー（2カメラ分離型）です。

フルハイビジョン画質の常時録画で、全天候（屋外・屋内・冷凍庫など）に対応します。

- 2カメラ同時に、Full HD（フルハイビジョン）で記録
- 各カメラごとに、ビデオフォーマット（Full HD/HD/WVGA）・画質（A/B/C）の設定可能
- 防水・防塵対応（IP67規格対応、本体のみIP66）
- カメラに特殊ガラス搭載（温度差で曇りにくい／水滴がつきにくい仕様）
※ご使用環境・条件によります。
- カメラ・インジケータ分離型（カメラケーブルはジョイントで延長可能 ※最大30mまで）
- バッテリータイプのフォークリフト対応（別途、オプションの専用DC-DCをご使用ください。）
- 専用SDカード（防水IPX7・-25℃～+85℃対応）は、大容量の256GBまで対応
- TV-OUTコネクタ採用
- Gトリガー・外部トリガーを任意で、映像データの抽出・コピー保存することが可能
- 大切な商品を取り扱う現場のためのセキュリティ
専用記録方式（専用ビューワソフトでのみ閲覧可能）・管理者名＋パスワード
- Wi-Fi通信対応

防水・防塵の国際規格について

IPとはIEC（国際電気標準会議）規格で定められた防水や防塵に対する国際規格です。

IP□□

（左側）第1記号 人体および固形物に対する保護等級 0～6

（右側）第2記号 水の浸入に対する保護等級 0～8

■ 防塵規格(第1記号)

JIS規格 保護等級	保護の程度
6	耐塵試験用粉塵（直径75μm）が入らないように保護されている。
5	防塵試験用粉塵（直径75μm）が入ったとしても所定の動作及び安全性を損なわないように保護されている。
4	直径1.0mm以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険な箇所への接近に対して保護されている。
3	直径2.5mm以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 工具での危険な箇所への接近に対して保護されている。
2	直径12.5mm以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 大人の指での危険な箇所への接近に対して保護されている。
1	直径50mm以上の大きさの外来固形物に対し保護されている。 大人の握りこぶしが危険な箇所へ接近しないように保護されている。
0	特に保護されていない。

■ 防水規格(第2記号)

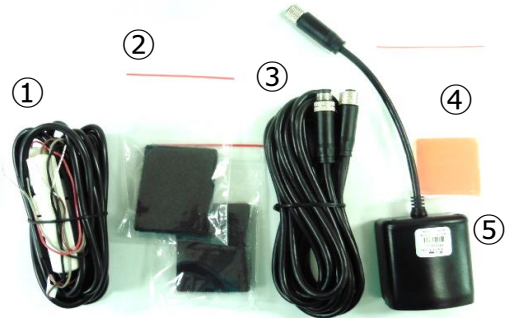
JIS規格 保護等級	種類	保護の程度
8	水中形	継続的に水没しても内部に浸水しない。
7	防浸形	一時的（30分）に一定水深（1m）の条件に水没しても内部に浸水しない。
6	耐水形	あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない。
5	防噴流形	あらゆる方向からの噴流水による有害な影響がない。
4	防沫形	あらゆる方向からの飛沫による有害な影響がない。
3	防雨形	鉛直から60度の範囲で落ちてくる水滴による有害な影響がない。
2	防滴II形	鉛直から15度の範囲で落ちてくる水滴による有害な影響がない。
1	防滴I形	鉛直から落ちてくる水滴による有害な影響がない。
0	無保護	特に保護されていない。

構成部品

◆本体（インジケーターユニット含む）



PRO-WITNESS II 本体
（12V／24V仕様）



- ①本体用電源ケーブル
- ②本体用マジックテープ×2枚
- ③インジケーター用電源ケーブル
- ④インジケーター用耐熱・防水両面テープ（3mm厚）
- ⑤インジケーターユニット（GPS・マイク内蔵）

◆カメラ-IRなし



カメラ付属品
カメラ用耐熱・防水両面テープ（3mm厚）×2枚
※1枚は予備となります。

◆カメラ-IRあり（赤外線ランプ付き）

※オプション品



◆カメラ用ケーブル

3.5m、5m、10m（カメラケーブル脱着式）
※ケーブル同士の接続（ジョイント）可能。
※カメラ用ケーブルの延長は、各ケーブル
組み合わせで、最大3本まで。（10m×3本＝最大30m）



◆専用DC-DCコンバーター（48V～80V仕様）

※オプション品



DC-DC（48V～80V仕様）



付属品
DC-DC用マジックテープ

※バッテリータイプのフォークリフト専用となります。

構成部品

◆専用SDカード

32GB・64GB・128GB・256GB



※専用SDカード以外はPRO-WITNESS IIでご使用できません。

※シールの仕様が変更になる場合がございます。

◆本体特殊ネジ専用ドライバー(L型)

※オプション品



◆Wi-Fiアンテナ (通信用)

※オプション品

※Wi-Fi通信を行う場合、必要となります。



◆専用ビューワソフトCD

専用ビューワソフト（映像再生ソフト）となります。

◆外部入力（AUX）ケーブル

※オプション品

※外部入力（AUX接続）を行う場合、必要となります。



専用SDカードのご使用にあたって

※メモリーカードは消耗品です。

ご使用環境によりますが、1年毎（推奨）に定期的買い替えをしてご使用ください。

※専用SDカードをご使用の際は、同一本体でのご使用をおすすめします。

※必ず、SDHC・SDXC規格が読み取り可能なSDカードリーダーライターをご使用ください。

専用SDカードのフォーマットについて

専用SDカードをWindowsフォーマットしないでください。

「専用ビューワソフトのSD専用フォーマット」以外でのフォーマットは行わないでください。

Windowsフォーマットを行うと、記録したデータの一部が消去されますので、ご注意ください。

弊社商品PRO-WITNESS IIは特殊フォーマットとなります。万が一、Windowsフォーマットしてしまった場合は、再度、専用ビューワソフトで、SD専用フォーマットを行ってください。

※SD専用フォーマットを行なうと、専用SDカードの映像データは消去されます。

専用SDカードの映像データを消去する場合は、必ず専用ビューワソフトの専用フォーマットで消去してください。

※専用SDカードの専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ必ず保存（バックアップ）してください。

◆取り付け前の注意事項

- 安全のため、必ず以下の内容を確認してから取り付けてください。
- ※水平な場所に止めてください。必ずエンジンを切り、エンジンキーを抜いた状態で取り付け（設置）をしてください。
 - ※バッテリータイプの場合は、キーを抜き、充電をしていない状態で取り付けを行ってください。
 - ※取り付けは、安全、かつ手元がよく見える、明るい場所で行ってください。
 - ※水平な場所に車両を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、本体設置位置の校正が正しく行われません。
 - ※必ず付属の電源ケーブルを使用してください。
 - ※使用しないケーブルは、絶縁処理をしてください。

下記の手順で、機器を取り付けてください。

- ①取り付け（設置）場所を決める→②取り付け準備をする→
- ③配線・接続・取り付ける→④専用SDカードを挿入する→
- ⑤本体設置位置の校正（手動校正）をする

①取り付け（設置）場所を決める

本体、インジケータユニット、カメラ、DC-DCコンバーター、Wi-Fiアンテナの設置場所を決め、スペースを空けてください。

OK

以下のような場所に設置してください。

◆運転の妨げ、ブレーキ・ハンドル等運転操作の妨げ、エアバック動作の妨げにならない場所。

本体

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。
- ◆専用SDカードの挿入・取り出しができる場所。
- ※本体は、LEDランプ表示が常に確認できる場所への取り付けでなくても問題はありません。
- 本体の動作状況（LEDランプ表示）は、インジケータユニットでご確認いただけます。

インジケータユニット

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。
- ◆GPS受信が良好な場所。
- ◆音声が集音できる場所。
- ◆LEDランプ表示を、運転者（ドライバー）が確認できる場所。
- ※インジケータユニットと他車載器のアンテナ類とは、50cm以上離して、お取り付けください。

カメラ

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。
- ◆走行中、視界の妨げにならない場所。
- ※ドライブレコーダーの取り付けによって、テレビ・ラジオの受信・他車載器に影響がでる場合がありますので、今までと同様の受信を保証するものではありません。
- ※カメラと他車載器のアンテナ類とは、50cm以上離して、お取り付けください。
- ※カメラの配線ケーブルを、他車載器のアンテナ類とは、反対側から回してお取り付けください。

専用DC-DCコンバーター

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。

Wi-Fiアンテナ（通信用）

- ◆しっかりと取り付け、きちんと固定できる場所。
- ◆Wi-Fi 受信が良好な場所。
- ◆運転中、視界の妨げにならない場所。

NG

各機器を次のような場所に取り付けしないでください。

- ◆エアコンやヒーターに近い場所。
- ◆配線の噛み込みや被覆の摩擦などにより、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ◆車両の電装機器（アンテナ等含む）に近い場所。

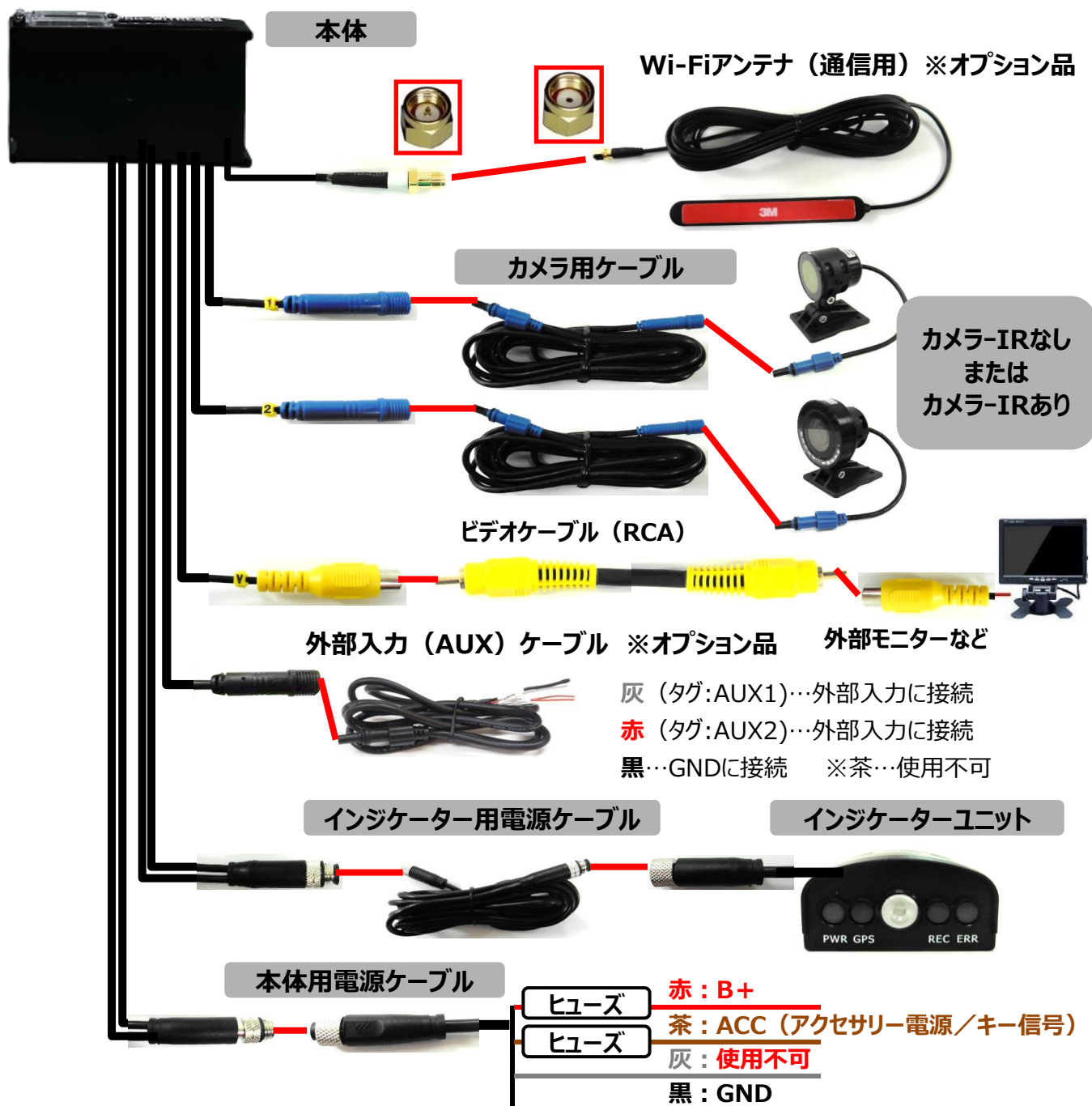
↓ ↓ ↓

②取り付け準備をする

- ※機器・ステーの裏面、取り付け場所の汚れや油分・埃・水滴などをきれいに拭き取ってください。特に、水滴は両面テープの性能を劣化させますのでご注意ください。
- ※本体・DC-DCコンバーターの裏面にマジックテープ、カメラ・インジケータユニットの裏面に両面テープが浮かないようにしっかりと貼ってください。
- ※マジックテープ・両面テープは一度貼り付けると、粘着力が弱くなりますので、再度貼り付けできません。貼り付けの際、ご注意ください。



↓ ↓ ↓
③配線・接続・取り付ける

12V車・24V車専用**(DC-DC接続がない場合) 配線図**

※本体用電源ケーブル（灰）は絶縁処理をしてください。未使用ケーブルの終端も絶縁処理をしてください。

※各ケーブルの接続方法・注意事項については、本体の取り付けページをご確認ください。

要注意！ ※DC48V以上でご使用の場合は、専用DC-DC（オプション）が必要となります。

専用DC-DCの接続がない場合、**電源電圧がDC12V・24Vのアース専用である**ことを、必ずご確認ください。12V・24V以外に接続すると、本体自体が破損してしまいますので、ご注意ください。

(DC-DC接続がある場合) 配線図

※各ケーブルの接続方法・注意事項については、
本体の取り付けページをご確認ください。



※本体用電源ケーブル（灰）は絶縁処理をしてください。未使用ケーブルの終端も絶縁処理をしてください。

要注意！

※DC48V以上でご使用の場合は、専用DC-DC（オプション）が必要となります。

本体からのケーブル→DC-DCのOUT側（DC12V）に接続

※次ページのA部分から出ているケーブルと接続してください。

バッテリーからのケーブル→DC-DCのIN側（DC48V～80V）に接続

※次ページのB部分に接続してください。

※1 本体用の電源ケーブルのB+、ACCの配線は、車両の同じ電圧にあわせて接続してください。

例えば、B+が80Vの場合

OK

B+・ACC両方、80Vの電圧につなぐ。

NG

B+を80V、ACCを48Vの異なる電圧につなぐと、起動しません。

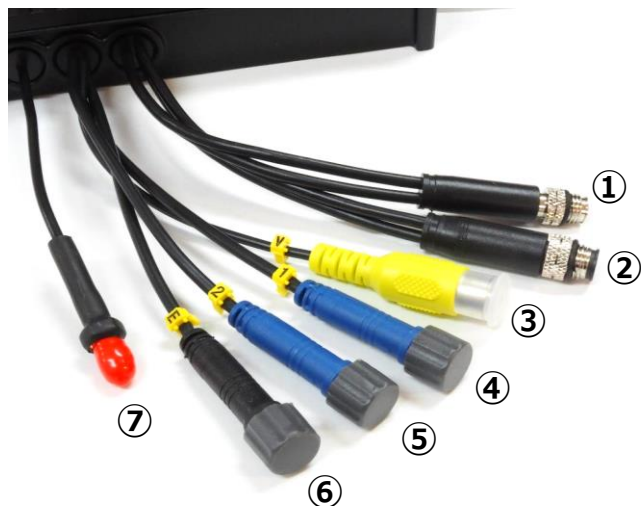
(DC-DC接続がある場合) 配線図**■ ご使用上のご注意**

バッテリー式フォークリフト全車が対象となります。

※エンジン式フォークリフトは対象外。

- ① 取り付け時、できるだけ樹脂部分への設置をしてください。
- ② 金属部分への設置の場合は、配線接続金具部分の絶縁処理をしてください。

◆ 本体の取り付け



- ① 電源ケーブルまたはDC-DCへの接続（コネクタ小）
- ② インジケーターユニット(以下、インジケーターと表記)への接続（コネクタ大）

※①と②は、コネクタの大きさが違います。取り付け時、ご注意ください。

- ③外部モニターなどへの接続
※ビデオケーブル（RCA）はご用意ください。

- ④カメラ-IRなし、またはカメラ-IRありの接続
※ケーブルのタグ1

※カメラ1台のみの場合は必ずこちらに接続してください。

- ⑤カメラ-IRなし、またはカメラ-IRありの接続
※ケーブルのタグ2

- ⑥外部入力（AUX）への接続

※未使用時、防水キャップは外さないでください。

防水キャップが外れないようにテーピング処理をおこなってください。

- ⑦Wi-Fiアンテナ（通信用）への接続

本体①⇔ 本体用電源ケーブル（またはDC-DC）への接続方法

1. 本体①と、本体用電源ケーブル（またはDC-DC）のコネクタの矢印を合わせて水平に差し込む。



2. それぞれのコネクタを約8～10回ほど時計回り（右回り）で回し、しっかりと締める。（隙間がなくなります。）



本体用電源 ケーブル線

- 赤：B+
- 茶：ACC（アクセサリ電源／キー信号）
- 灰：使用不可
- 黒：GND

※本体用電源ケーブル（灰）は絶縁処理をしてください。

本体② ⇔ インジケータ用ケーブル ⇔ インジケータへの接続方法

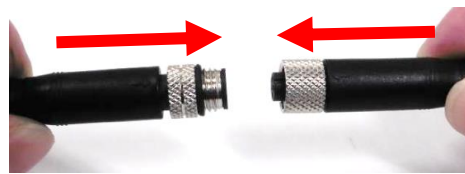
1. 本体②と、インジケータ用ケーブルの
コネクタの矢印を合わせて水平に
差し込む。



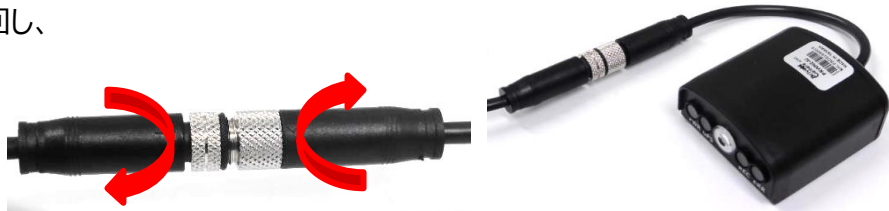
2. それぞれのコネクタを約8～10回ほど
時計回り（右回り）で回し、
しっかりと締める。
（隙間がなくなります。）



3. インジケータ用ケーブルと、
インジケータのコネクタの矢印を
合わせて水平に差し込む。



4. それぞれのコネクタを約8～10回ほど
時計回り（右回り）で回し、
しっかりと締める。
（隙間がなくなります。）

**本体③ ⇔ 外部モニターなどへの接続方法**

1. 本体③と、ビデオケーブル（RCA）の
コネクタを水平に差し込む。
※ビデオケーブル（RCA）は
ご注意ください。



2. ビデオケーブル（RCA）の反対側と
外部モニターなどのケーブルコネクタを
水平に差し込む。



※市販品のビデオケーブル（RCA）接続コネクタ部分は防水仕様ではありません。
接続時、テーピング処理などを行ってください。

本体④⑤ ⇔ カメラ用ケーブル ⇔ カメラ-IRなし・カメラ-IRありへの接続方法

1. 本体④⑤と、カメラ用ケーブルのコネクタの矢印を合わせて、水平に差し込む。

※カメラ用ケーブルは、
カメラ-IRなし・カメラ-IRあり共通。



OK コネクタ間に隙間がない状態



NG コネクタ間に隙間がある状態

隙間がある状態で、コネクタカバーを回しても、隙間は埋まらず、正常に接続ができませんのでご注意ください。

※接続時、パッキン（黒のオーリング）が外れないよう
ご注意ください。



※カメラ1台のみご使用の場合、必ずケーブルのタグ1に接続してください。
カメラ2台未使用時、ケーブルのタグ2の防水キャップは外さないでください。
ケーブルのタグ1



ケーブルのタグ2



2. 接続部分に、コネクタカバーを合わせる。



3. コネクタ間に隙間がないことを確認し、
コネクタカバーを時計回り（右回り）に
回し、しっかりと締める。



4. カメラ用ケーブルと、カメラから出ているコネクタの矢印を合わせて水平に差し込む。

※カメラ-IRなし・カメラ-IRありの接続間違いにご注意ください。



5. 接続部分に、コネクタカバーを合わせる。



6. コネクタ間に隙間がないことを確認し、
コネクタカバーを時計回り（右回り）に
回し、しっかりと締める。



※しっかりと接続されていない、また、コネクタ部分に圧等（右写真）がかかる取付は、
車の振動などで接触不良が起こり、カメラエラーや取得映像にチラつきなどが出る
場合がありますのでご注意ください。カメラエラーやチラつきが出た場合は、
再度コネクタ部分を外し、再接続を行ってください。



本体⑥ ⇔ 外部入力 (AUX) への接続方法

1. 本体⑥と、外部入力 (AUX) ケーブルのコネクタの矢印を合わせて、水平に差し込む。

※外部入力 (AUX) ケーブルはオプション品となります。



2. 接続部分に、コネクタカバーを合わせる。



3. コネクタカバーを時計回り (右回り) に回し、しっかりと締める。



4. 外部入力 (AUX) ケーブルの反対側を接続してください。

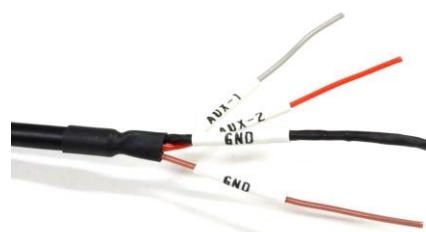
灰 (タグ:AUX1)…外部入力に接続

赤 (タグ:AUX2)…外部入力に接続

黒…GNDに接続

茶…使用不可

※外部入力 (AUX) ケーブル (茶) は絶縁処理をしてください。

**本体⑦ ⇔ Wi-Fi アンテナへの接続方法**

1. 本体⑦コネクタの蓋を外す。



2. 本体⑦と、Wi-Fi アンテナのコネクタを合わせて、水平に差し込む。



3. Wi-Fi アンテナ側のコネクタを約8～10回ほど時計回り (右回り) で回し、しっかりと締める。



**Wi-Fiアンテナ側の
コネクタのみを
回してください。**



4. しっかりと固定するため、工具 (スパナなど) を使用し、接続後、コネクタ部分を絶縁テープで巻き、保護をおこなってください。

※ケーブルコネクタのピンが折れるなど破損を起こさないようご注意ください。

◆カメラの取り付け・角度調整

※しっかりと取り付け、きちんと固定されているか確認してください。カメラが落下することのないように、テープなどで補強してください。

※取り付け後、車両外側から見て、両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。

※貼り付け後、確実に密着するようカメラのステー（台座部分）を十分に押し付けてください。

※撮影したい方向にカメラが向いているか確認してください。

※カメラレンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整してください。

カメラの向き・角度調整

映像を再生した際、映像の上側となる目印があります。

取り付け時、カメラの向きを確認してください。

【カメラ-IRなしの場合】

レンズ側の白い点が、映像の上側となります。



正しい位置

【カメラ-IRありの場合】

レンズ側の白い点が、映像の上側となります。

※上記状態にすると、赤外線補正センサー部分（A）が下側になります。



正しい位置

↓ ↓ ↓

映像の上側となる目印の位置を変更したい場合は、カメラステーのBのネジを緩めて、カメラを動かしてください。

※市販品の六角レンチ（対辺寸法 3 mm）をご用意ください。

カメラの取り付け位置によって、撮影方向にカメラレンズがきちんと向かない場合は、Bのネジを緩めた後外して、カメラレンズの向きを変えることができます。向きの変更後、Bのネジはしっかりと締めてください。



レンズの
向き



ステー短い

ステー長い

レンズの
向き



ステー長い

ステー短い

※出荷時、カメラレンズの向きは上の写真の仕様となります。

Cのネジで、ステーの角度調整が可能です。

Cのネジで緩めて、調整してください。調整後、Cのネジはしっかりと締めてください。

映像再生時、時計回りに90度回転させて映像を見たい場合の カメラの向き・角度調整

レンズ側の目印（白い点）が映像を再生した際、映像の上側となります。
Bのネジを緩めて、目印（白い点）の位置を、レンズ側から見て、
右に90度回転させ変更してください。
目印（白い点）とカメラホルダーのライン（D部分）が水平であることを
確認後、Bのネジをしっかりと締めてください。



カメラ-IRなし



カメラ-IRあり



外部モニター出力でのカメラの向き・画角確認方法

外部モニター接続時、SETボタンでのカメラ出力・切り替えが可能です。

（ACC ON時 & 録画中のみ作動）

※この機能は、TV-OUT設定がOFF設定時は機能しません。

【操作手順】

1. 録画中（PWR/REC LEDランプ緑色点灯）、
SETボタンを1回押してください。



2. 外部モニターに、カメラ1映像が出力されます。

※SETボタンを1回押すごとに、カメラ2→カメラ1→カメラ2…と切り替わります。

※次のACC OFFまでは、最後の出力が維持されます。ACC OFF→ACC ON後は、
SDカードに保存されているTV-OUT設定の出力に戻ります。

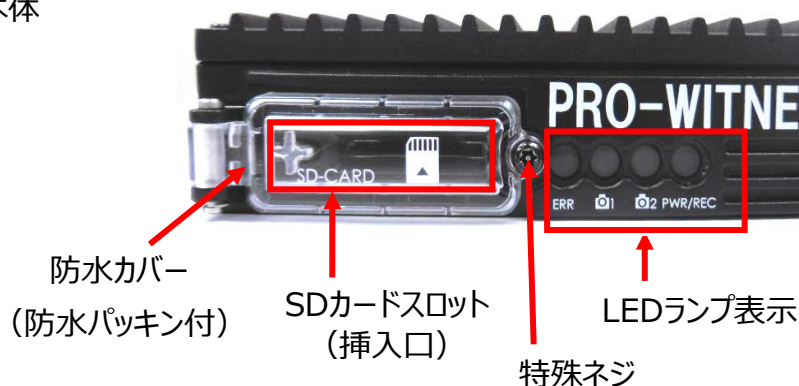
**取り付け・配線完了後、機器がきちんと固定されているか、
運転機能が正しく動作するか確認してください。**



④専用SDカードを挿入する

セキュリティ対策として、専用SDカードは、簡単に取り出せない仕様（特殊ネジ）となっております。防水カバーの開閉は、本体特殊ネジ専用ドライバーをお使いください。

本体



挿入方法

- 1.ACCがOFFであることを確認してください。
- 2.専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを反時計回り（左回り）で緩め、防水カバーを開けてください。
- 3.専用SDカードを水平に挿入してください。
※SDカードの表裏を間違えないようにしてください。
※本体設置位置の設定が保存されている専用SDカードを挿入してください。
- 4.防水カバーを閉め、専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを時計回り（右回り）で、しっかりと締めてください。



取り出し方法

- 1.ACCをOFFにします。
※すべてのLEDランプの消灯をご確認ください。
- 2.専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを反時計回り（左回り）で緩め、防水カバーを開けてください。
- 3.専用SDカードを軽く押し込み指を添えて、水平に取り出してください。
- 4.防水カバーを閉め、専用ドライバーを本体特殊ネジ部分にあて、ネジを時計回り（右回り）でしっかりと締めてください。



PRO-WITNESS II は、専用SDカードの専用フォーマットを行っていないとご使用いただけません。

SDカード挿入時、SDカードが専用フォーマットされていることをご確認ください。

（出荷時に同梱されるSDカードは専用フォーマット済みです。SDカード名称：PRO2-SD）

※専用フォーマットがされていないSDカードを本体に挿入すると、起動時、ERR（エラー）ランプが赤色点滅し、正常起動ができませんのでご注意ください。

※SDカードの専用フォーマット方法については、ビューワソフト説明部分を参照。

録画をする前に、SDカードの設定を行ってください。

※SDカードの設定方法については、ビューワソフト説明部分を参照。

専用SDカードのご使用にあたって

※メモリーカードは消耗品です。

ご使用環境によりますが、1年毎（推奨）に定期的買い替えをしてご使用ください。

※専用SDカードをご使用の際は、同一本体でのご使用をおすすめします。

※必ず、SDHC・SDXC規格が読み取り可能なSDカードリーダーライターをご使用ください。

専用SDカードのフォーマットについて

専用SDカードをWindowsフォーマットしないでください。

「専用ビューワソフトのSD専用フォーマット」以外でのフォーマットは行わないでください。

Windowsフォーマットを行うと、記録したデータの一部が消去されますので、ご注意ください。

弊社商品PRO-WITNESS II は特殊フォーマットとなります。万が一、Windowsフォーマットしてしまった場合は、再度、専用ビューワソフトで、SD専用フォーマットを行ってください。

※SD専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されます。

専用SDカードの映像データを消去する場合は、必ず専用ビューワソフトの専用フォーマットで消去してください。

※専用SDカードの専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ必ず保存（バックアップ）してください。

使用上のご注意

※SDカードを本体に抜き差しする場合、方向に注意して、まっすぐ抜き差ししてください。

上下に曲げないように注意してください。無理にSDカードを取り出すと、SDカードが破損する恐れがありますのでご注意ください。

※SDカードの抜き差しは、本体の電源が切れていること（すべてのLEDランプが消灯）を確認して行ってください。動作中にSDカードの抜き差しを行うと、SDカードが破損する恐れがあります。

※SDカードへのデータ書き込み中（LEDランプが点灯中）は、絶対にSDカードを抜かないでください。SDカードが破損するだけでなく、本体が故障する恐れがあります。

※強い衝撃などによりSDカードが物理的破損したり、使用環境により正常録画できない可能性（録画されたデータは正常に再生できないかもしれない）がありますので、定期的にデータの確認とデータの保存をお願いします。



⑤ 本体設置位置の校正（手動校正）をする

PRO-WITNESS II 取付完了後、車両が水平な場所で、必ず本体設置位置の校正（手動校正）を行ってください。

※本体設置位置の校正（手動校正）は、ACC ON時のみ機能します。

本体設置位置の校正（手動校正）とは、本体の角度が縦向きなどに設置されている場合、その状態を垂直として認識校正する機能です。

この校正を行わないと、トリガーが頻繁にかかってしまいます。

※水平な場所に車両を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、本体設置位置の校正が正しく行われません。

※本体設置位置に対して、 $\pm 40^\circ$ 以内までは取り付け・本体設置位置の校正（手動校正）が可能です。

※本体設置位置の設定が保存されている専用SDカードを挿入してください。

（本体設置位置設定方法については、ビューソフト説明部分参照。）

本体設置位置の校正（手動校正）方法

- ①専用ビューソフトで、専用SDカードに 本体設置位置の設定・保存をする。
- ②車両を水平な場所に止めてください。
- ③SDカードを本体に挿入してください。
- ④PRO-WITNESS II 本体が、①で設定・保存した設置位置と同じ位置が確認してください。
※異なる場合は、専用SDカードの本体設置位置の設定・保存をし直してください。
- ⑤ACC ONにしてください。
※エンジンONではありません。エンジンはかけないようにお願いいたします。
（エンジンONの場合は、車の振動が影響するため）
- ⑥約18秒後、PWR/REC LEDランプがすべて緑色点灯し、録画が開始します。
録画開始確認後、SETボタンを長押ししてください。



- ⑦PWR/REC LEDランプが緑色高速点滅をはじめたら、SETボタンを押すのを止めてください。
- ⑧PWR/REC LEDランプが緑色点灯に戻りましたら、手動校正完了となります。
ACC OFFにしてください。

本体設置位置の校正（手動校正）は1回のみで十分ですが、本体の設置位置を変更する場合は、必ず再度、本体設置位置の校正（手動校正）を行ってください。

本体の起動（本体）

本体を起動する

◆起動（録画開始） SDカードを未挿入のまま、ACC ONしないでください。

本体の電源が切れている状態（すべてのLEDランプが消灯）で、専用SDカードが挿入されていることを確認後、電源を入れてください。（ACC ON）。

ACC ONの約18秒後に、PWR／RECランプが
緑色点灯になり、自動的に常時録画が始まります。



LED表示	正常時	異常時
ERRランプ	消灯	カメラ1・カメラ2・インジケータ異常・未接続の場合→ 赤色点灯 専用SDカードでない、専用フォーマットされていない、SDカード破損、または本体異常などの場合 → 赤色点滅
CAM 1 ランプ	緑色点灯	カメラ1未接続、またはカメラ1異常の場合 → 赤色点灯
CAM 2 ランプ	緑色点灯	カメラ2未接続、またはカメラ2異常の場合 → 赤色点灯
PWR/REC ランプ	正常起動・録画開始→ 緑色点灯 外部信号入力時→ 緑色高速点滅 ※本体ソフトの更新時→ 緑色点滅と高速点滅 完了後に自動的に録画開始します。 この間、絶対に電源は切らないでください。	専用SDカードでない、専用フォーマットされていない、SDカード破損の場合 → 緑色点滅 本体異常の場合 → 緑色点滅または消灯

※ACC ON後、GPS受信まで約25秒以上かかりますが、GPSが受信しにくい場所（ビルの谷間など）では、30分以上かかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界が良好な場所へ移動してください。

◆終了（録画停止）

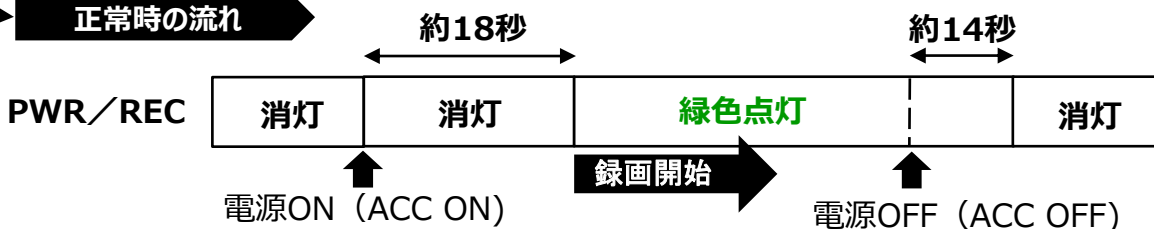
電源遮断（ACC OFF）から約14秒後に完全シャットダウンされます。（※1）

本体が完全にシャットダウンされる（すべてのLEDランプが消灯）まで、専用SDカードを絶対に抜かないでください。

※1 Wi-Fi通信時、Wi-Fi通信完了後（ACC OFFの約2分15秒後）にシャットダウンされます。

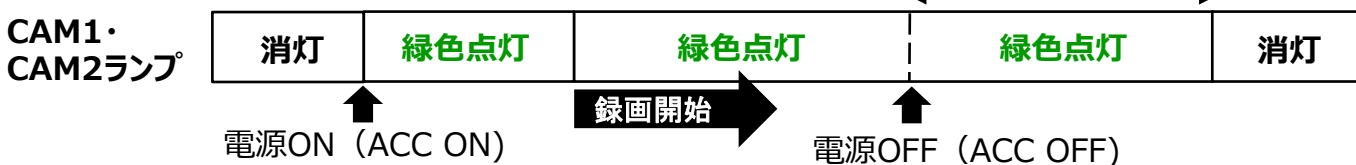
また、ACC OFF後、Wi-Fi通信NGの場合、ACC OFF後約14秒後、強制的にシャットダウンします。

正常時の流れ



Wi-Fi通信時の流れ

Wi-Fi通信時、PWR/RECランプの流れは正常時の流れと同じです。



本体の起動（インジケータユニット・DC-DC）

本体を起動する

使用上のご注意

- ※SDカードの抜き差しは、本体の電源が切れていること(すべてのLEDランプが消灯)を確認して行ってください。動作中にSDカードの抜き差しを行うと、SDカードが破損する恐れがあります。
- ※SDカードへのデータ書き込み中（LEDランプが点灯中）は、絶対にSDカードを抜かないでください。SDカードが破損するだけでなく、本体が故障する恐れがあります。

◆インジケータユニット

インジケータユニットで、PRO-WITNESS II の動作状況を確認することができます。防水マイク搭載で、周囲の音声を記録します。

マイク



LED表示	ACC ON正常時	ACC ON異常時
PWRランプ	本体電源ON(ACC-ON)後→ 緑色点灯	本体が起動していない場合→ 消灯 ※本体のLED表示をご確認ください。
GPSランプ	GPS受信まで→ 青色点滅 GPS受信後→ 青色点灯 ※GPS圏外になった場合→ 青色点滅	青色点滅または消灯
RECランプ	録画開始後→ 緑色点灯 外部信号入力時→ 緑色高速点滅 ※本体ソフトの更新時→ 緑色点滅と高速点滅	専用SDカードでない、専用フォーマットされていない、SDカード破損、または本体異常などの場合→ 緑色点滅 (PWRランプ緑色点灯状態) ※本体のLED表示をご確認ください。
ERRランプ	消灯	カメラ1・カメラ2異常・未接続の場合→ 赤色点灯 専用SDカードでない、専用フォーマットされていない、SDカード破損、または本体異常などの場合→ 赤色点滅 ※本体のLED表示をご確認ください。 ※カメラのチャンネル設定のチェックを外さずに1カメラ（カメラ1台）で起動した場合も赤色点灯します。

◆DC-DC

ACC OFF時も、入力側に電圧・電流が入っていると、DC-DCの右側のLEDは点灯しています。ACC ON時、左側のLED点灯と右側のLED表示を確認をしてください。

LED表示

■ACC OFF 時



■ACC ON 時



- *左側（G:ACC）入力側（DC48～80V）は**消灯**
- *右側（G:DC12V）は、入力側（B+）に電圧・電流の入力がある場合は、**緑色点灯**（過電圧入力時は**消灯**）（過電流入力時は**オレンジ色点灯**）※過電圧保護については、製品仕様をご確認ください。
- *左側（G:ACC）入力側（DC48～80V）は**緑色点灯**（異常時は**消灯**）
- *右側（G:DC12V）は、**緑色点灯**（過電圧入力・過電流入力時は**オレンジ色点灯**）

◆録画

5分前後／1ファイル(ただし、シャットダウン時は短くなります。)

車両のACC ON／OFFに応じて、自動的に常時録画・録音を開始・終了します。

設定の画質(Full HD/HD/WVGA)、フレーム(30fps/15fps)、画質(A・B・C)で記録を行います。

◆SDカードへの記録内容

映像、日付と時間、音声（設定により音声オフ（無）も可能）、GPSデータ(GPS受信可能時)、信号入力(外部)、Gセンサーデータ、Gトリガー(設定時)

◆録画時間（単位：時間）

※音声録音オフ設定、カメラ1・カメラ2が同じ設定時の最大記録時間となります。

※64GB専用SDカードをご使用时、目安の時間は下記の約2倍となります。

※128GB専用SDカードをご使用时、目安の時間は下記の約4倍となります。

※256GB専用SDカードをご使用时、目安の時間は下記の約8倍となります。

※録画時間は、理論上の計算値で保証値ではありません。被写体や周囲環境などの要因により変動します。

使用上のご注意

※SDカードへの保存は、容量がいっぱいになると、一番古いファイルから上書き保存していきます。映像ファイルは順次、消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ保存（バックアップ）してください。

※SDカードにドライブレコーダーで記録されているデータ以外を保存しないでください。正しく映像が記録されていないことがあります。

Wi-Fi OFF								
32GB・1カメラ時								
Full HD			HD			WVGA		
	30fps	15fps		30fps	15fps		30fps	15fps
画質			画質			画質		
A	5.19	10.27	A	7.75	15.26	A	20.14	38.73
B	7.75	15.26	B	10.27	20.14	B	29.61	55.94
C	10.27	20.14	C	15.26	29.61	C	38.73	71.92
32GB・2カメラ時								
Full HD			HD			WVGA		
	30fps	15fps		30fps	15fps		30fps	15fps
画質			画質			画質		
A	2.61	5.19	A	3.90	7.75	A	10.27	20.14
B	3.90	7.75	B	5.19	10.27	B	15.26	29.61
C	5.19	10.27	C	7.75	15.26	C	20.14	38.73

映像ファイルの録画

映像を録画する

Wi-Fi ON (モード1・通信データ画質A設定)								
32GB・1カメラ時								
Full HD			HD			WVGA		
	30fps	15fps		30fps	15fps		30fps	15fps
画質			画質			画質		
A	5.09	9.87	A	7.51	14.38	A	18.65	33.56
B	7.51	14.38	B	9.87	18.65	B	26.50	45.77
C	9.87	18.65	C	14.38	26.50	C	33.56	55.94

Wi-Fi ON (モード1・通信データ画質B設定)								
32GB・1カメラ時								
Full HD			HD			WVGA		
	30fps	15fps		30fps	15fps		30fps	15fps
画質			画質			画質		
A	5.14	10.07	A	7.63	14.81	A	19.36	35.96
B	7.63	14.81	B	10.07	19.36	B	27.97	50.34
C	10.07	19.36	C	14.81	27.97	C	35.96	62.93

32GB・2カメラ時								
Full HD			HD			WVGA		
	30fps	15fps		30fps	15fps		30fps	15fps
画質			画質			画質		
A	2.58	5.09	A	3.84	7.51	A	9.87	18.65
B	3.84	7.51	B	5.09	9.87	B	14.38	26.50
C	5.09	9.87	C	7.51	14.38	C	18.65	33.56

Wi-Fi ON (モード2・通信データ画質A設定B設定共通)								
32GB・1カメラ時								
Full HD			HD			WVGA		
	30fps	15fps		30fps	15fps		30fps	15fps
画質			画質			画質		
A	5.19	10.27	A	7.75	15.26	A	20.14	38.73
B	7.75	15.26	B	10.27	20.14	B	29.61	55.94
C	10.27	20.14	C	15.26	29.61	C	38.73	71.92

32GB・2カメラ時								
Full HD			HD			WVGA		
	30fps	15fps		30fps	15fps		30fps	15fps
画質			画質			画質		
A	2.61	5.19	A	3.90	7.75	A	10.27	20.14
B	3.90	7.75	B	5.19	10.27	B	15.26	29.61
C	5.19	10.27	C	7.75	15.26	C	20.14	38.73

PRO-WITNESS II で記録した映像は、専用ビューワソフトで再生することができます。
以下の手順で、専用ビューワソフトをインストールし、起動させてください。

パソコンの動作環境

専用ビューワソフト（映像再生ソフト）「PRO-WITNESS II」稼働条件

OS推奨	Windows10／Windows11 (32bit/64bit) ※Microsoft Edgeのインストールが必要
CPU推奨	Intel Core i5-4460以上推奨
メモリー推奨	4G以上推奨
ハードディスク推奨	1GB以上の空き容量（インストール時）
ディスプレイ	1920*1080ピクセル以上表示可能なパソコン
その他	SDカードのリードライトができるインターフェイスを装備している。あるいは、 USB 2.0以上のポートがあること（カードリーダーは本製品に付属していません） Direct X 9.0以上が必要（Windows8以上であれば、DirectXは同時にインストールされます。）

※パソコンに独立したビデオカードが搭載されていない、あるいは、CPU：i5-4460以上でパフォーマンスが20%以上＋150Mのメモリーでない場合は、専用ビューワソフトをお使いになる前にパソコンを再起動してください。また、長時間お使いになる際も定期的にパソコンの再起動をお願いします。

※推奨環境すべてのパソコンでの動作を保証するものではありません。

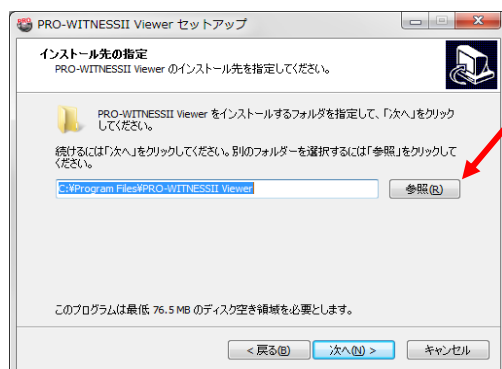
ご使用されるパソコン環境によっては正しく再生されない、正しく動作しない場合もあります。

※必ず、SDHC・SDXCが読み取り可能なSDカードリーダーライターをご使用ください。

インストール手順

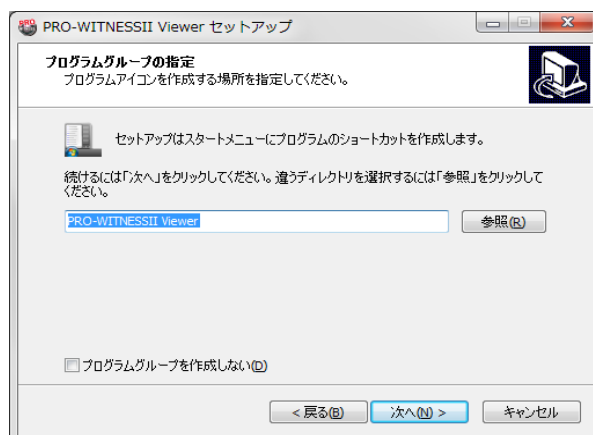
インストール版は、管理者権限でインストールをしてください。

1. 同梱のCD-ROMをご使用のパソコンにセットしてください。
2. 「PRO-WITNESS II -Viewer P2_1.00」のインストーラをダブルクリックしてプログラムを起動させてください。
3. 右記の画面が表示されましたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。
4. インストール先を指定した上で、[次へ]ボタンをクリックしてください。

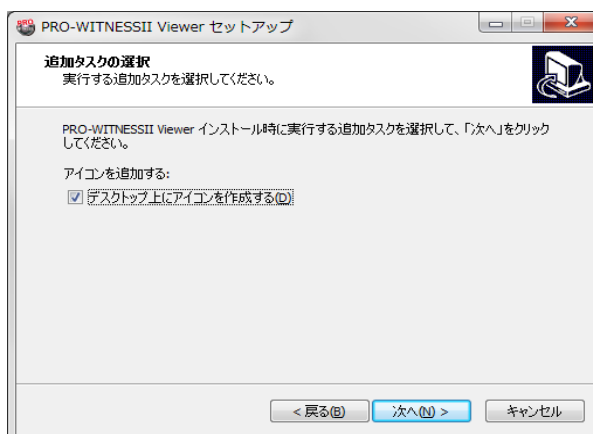


参照ボタンをクリックすると、任意のインストール先を指定することができます。
(管理者以外の方がお使いの場合は、
お使いになる方がアクセスできる場所を
指定してください。
指定後、[OK]ボタンをクリックしてください。

5. 下記の画面が表示されましたら、[次へ]ボタンをクリックしてください。



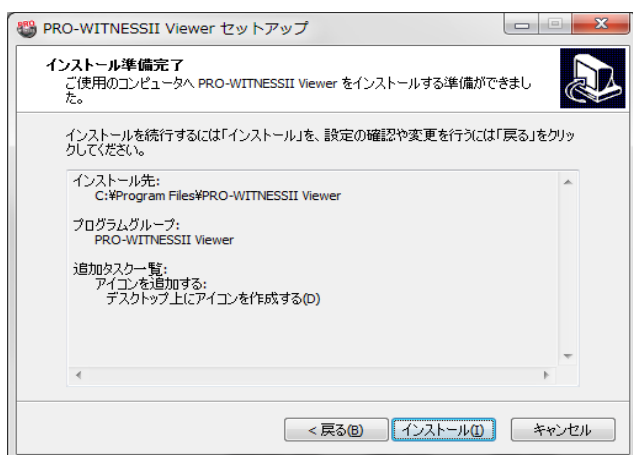
6. 下記の画面が表示されましたら、デスクトップ上に「PRO-WITNESS II Viewer」のアイコンを作成する場合は、チェックボックスにチェックを入れ、[次へ]ボタンをクリックしてください。



7. 下記左の画面が表示されましたら、[インストール]ボタンを選択してください。

自動的にインストールが始まります。

下記右の画面が表示されましたら、インストールが完了しました。[完了]ボタンを選択してプログラムを終了させてください。



インストール手順 6 で、「デスクトップ上にアイコンを作成する」に、☒チェックを入れた場合、専用ビューワソフトのアイコンが、パソコンのデスクトップ上に表示されます。

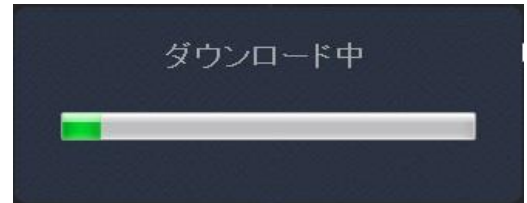
専用ビューワソフトの自動更新機能

専用ビューワソフトのバージョンが更新された際、自動更新のメッセージが表示されます。

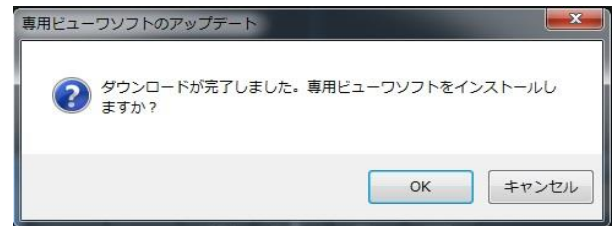
<新しいバージョンが更新されたときのみ、画面が表示されます。>

- 1.専用ビューワソフト起動後、
「PRO-WITNESS II 専用ビューワソフトのバージョンが更新されています。ダウンロードしますか？」の画面が自動的に表示されます。

- 2.ダウンロードする場合、「はい」をクリックしてください。
新バージョンのダウンロードが始まります。



- 3.ダウンロード完了後、「ダウンロードが完了しました。専用ビューワソフトをインストールしますか？」の画面が表示されます。



- 4.インストールする場合、「OK」をクリックしてください。
- 5.専用ビューワソフトのインストール手順 3 以降に沿って、インストールを行ってください。

自動更新での専用ビューワソフトのインストール時、SD設定の設定値保存（設定A～設定C）は、そのまま保持されます。

専用ビューワソフトの自動更新表示ON／OFF

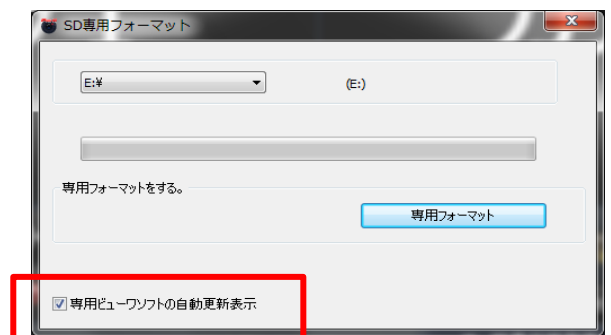
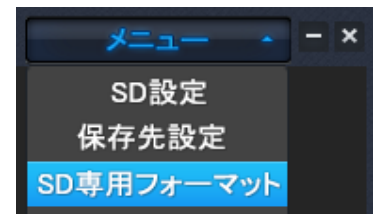
専用ビューワソフトのバージョンが更新された際、自動更新の画面表示のON／OFFが設定できます。

（デフォルト設定：ON ☒チェック有）

- 1.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、
[SD専用フォーマット]をクリックしてください。
- 2.SD専用フォーマット画面が表示されます。
画面の「専用ビューワソフトの自動更新表示」の
チェックボックスでON／OFFが設定できます。

- ☒チェック有り→新しいバージョンが更新されたとき
自動更新の画面が表示されます。
- ☐チェック無し→新しいバージョンが更新されたとき
自動更新の画面は表示されません。

<26>



SD専用フォーマット後、SDカードの設定を行ってください。

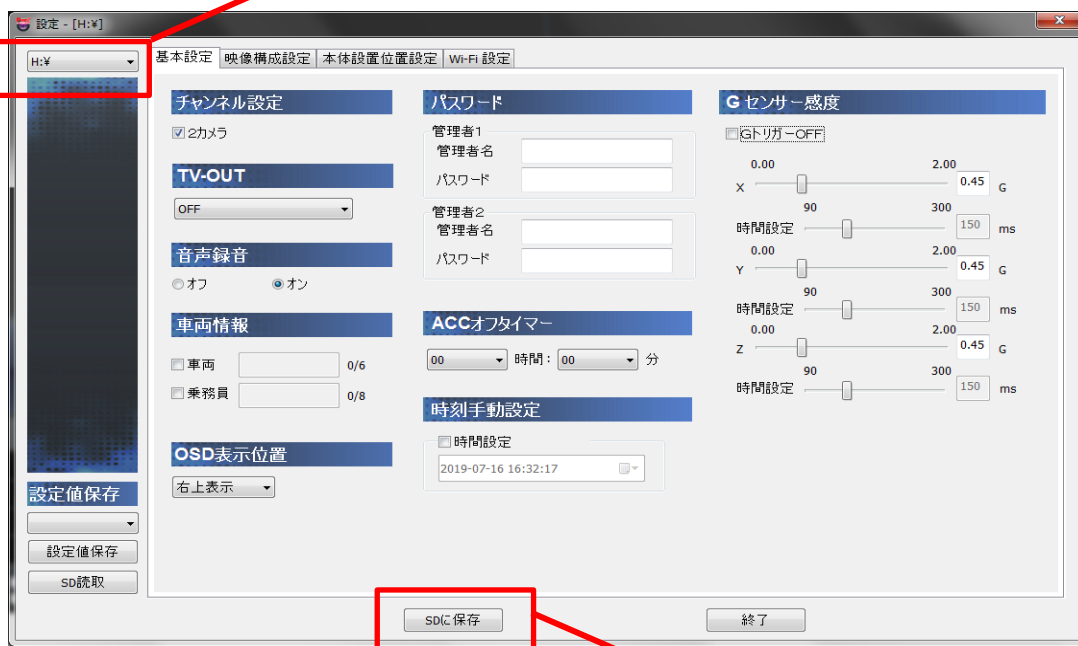
出荷時は専用フォーマット済です。

PRO-WITNESS II のボリュームラベル（名称）は、PRO2-SDと表示されます。

映像データを録画する前に、専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続し各種SDカードの設定・保存を行ってください。

SDカードの設定手順

1. 専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2. メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
SD設定画面が表示されます。
3. SD設定画面左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。



4. 基本設定から各設定タグをクリックし、設定を選択・入力後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。

**基本設定→映像構成設定→本体設置位置設定→Wi-Fi設定→
[SDに保存]ボタン**

5. 「保存しました」のメッセージが表示されましたら、SDへの保存が完了となります。

SDカードの設定値を確認する

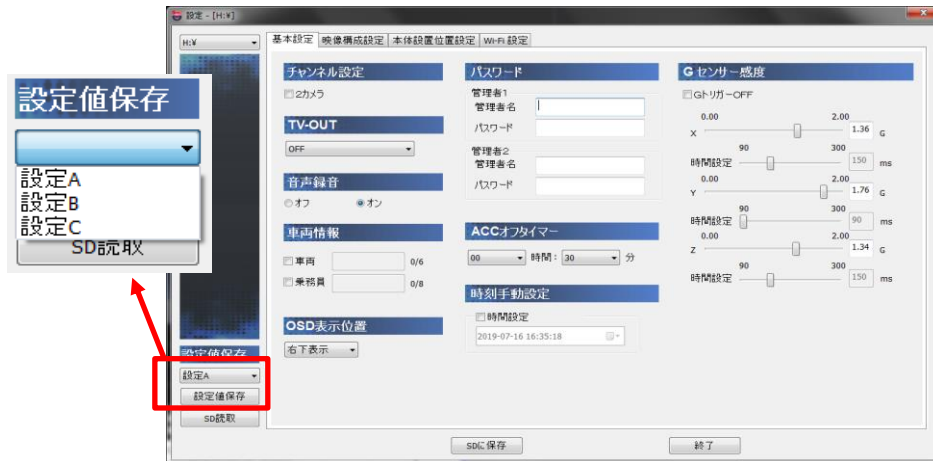
1. 専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2. メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
SD設定画面が表示されます。
3. SD設定画面左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。
4. 各設定タグの設定値が切り替わり、SDカードの現在の設定値が表示されます。

設定値保存 ※複数枚のSDカードを設定する場合、この方法が便利です。

SDカードに保存する各設定値を、専用ビューワソフトに最大 3 パターン（設定A～設定C）保存することができます。

ソフトに設定値保存する

1. 設定値保存先を、設定A・設定B・設定Cから選択します。



2. 基本設定から各設定タグをクリックし、設定を選択・入力後、[設定値保存]ボタンをクリックしてください。

**基本設定→映像構成設定→本体設置位置設定→Wi-Fi設定→
[設定値保存]ボタン**

3. 「設定値保存しました」のメッセージが表示されましたら、設定値の保存が完了となります。

SDカードに設定値保存する

専用ビューワソフトに設定値保存済みの設定A～設定CをSDカードに保存します。

例えば、設定BをSDカードに保存する場合

1. 専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2. メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
SD設定画面が表示されます。
3. SD設定画面左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。
4. 設定Bを選択します。
5. 各設定タグの設定値が切り替わり、専用ビューワソフトに設定値保存したデータが表示されます。
6. 設定値を確認後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。
「保存しました」のメッセージが表示されましたら、SDへの保存が完了となります。

SDカードに設定値保存+追加保存する

専用ビューソフトに設定値保存済みの設定A～設定C+車両情報のみを追加保存します。

例えば、設定BをSDカードに保存する場合

- 1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
- 2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
SD設定画面が表示されます。
- 3.SD設定画面左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。
- 4.設定Bを選択します。
- 5.各設定タグの設定値が切り替わり、専用ビューソフトに設定値保存したデータが表示されます。
- 6.[基本設定]の車両情報（車両・乗務員）を入力してください。
- 7.設定値を確認後、[SDに保存]ボタンをクリックしてください。
「保存しました」のメッセージが表示されましたら、SDへの保存が完了となります。

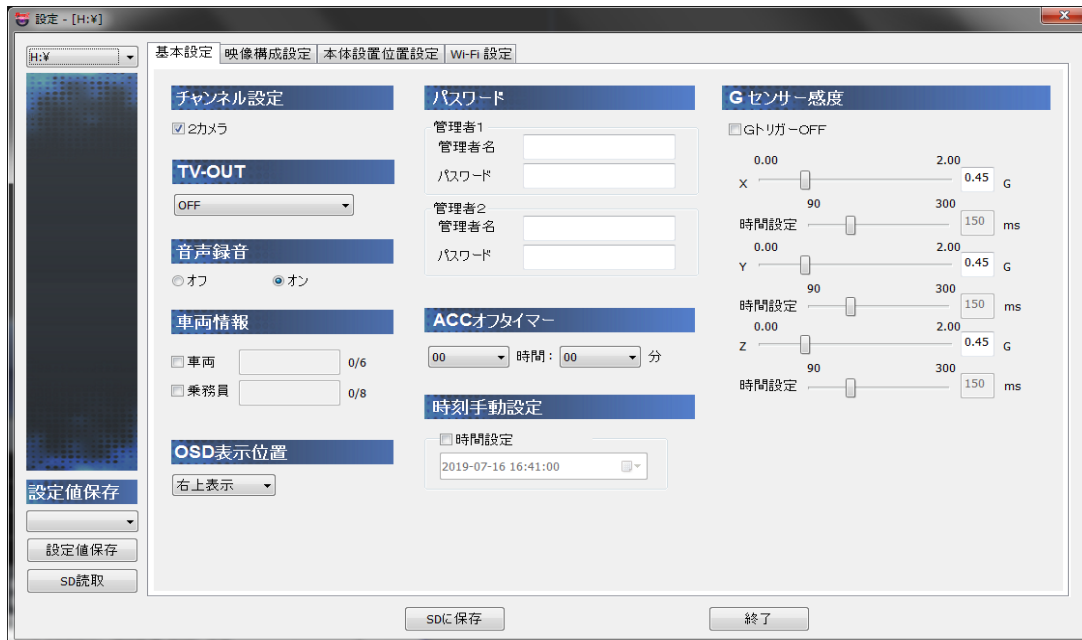
SDカードの設定値を読み取り、ソフトに設定値保存する

- 1.専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
- 2.メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、[SD設定]をクリックしてください。
SD設定画面が表示されます。
- 3.SD設定画面左上にある読込先をクリックし、設定するSDカードを選択してください。
- 4.設定値保存先を、設定A・設定B・設定Cから選択します。
- 5.[SD読取]ボタンをクリックしてください。
(SDカードの設定値を読み取り、SDカードの設定値が表示されます。)
- 6.[設定値保存]ボタンをクリックしてください。
「設定値保存しました」のメッセージが表示されましたら、設定値の保存が完了となります。

基本設定から各設定タグをクリックし、設定を選択・入力後、最後に[SDに保存]ボタンをクリックしてください。

**基本設定→映像構成設定→本体設置位置設定→Wi-Fi設定→
[SDに保存]ボタン**

基本設定



チャンネル設定

チャンネル設定

☐ 2カメラ

チャンネル設定

☒ 2カメラ

<カメラ使用台数の設定>

使用するカメラの台数を設定します。

■カメラを1台のみ使用する場合

→チェックが入っていないことをご確認ください。

- ※1カメラ（カメラ1台）で録画する場合は、2カメラのチェックを外してください。
- ※チェックを外さずに、1カメラ（カメラ1台）で起動した場合、本体のCAM2 LEDランプ・インジケーターユニットのERRランプが赤色点灯します。
- ※2カメラ未接続時、本体のCAM2ランプは常時、赤色点灯します。

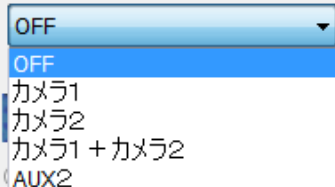
■カメラを2台使用する場合

→チェックを入れてください。

- ※2カメラ（カメラ2台）で録画する場合は、2カメラを必ず選択してください。2カメラが選択されていないと、1カメラしか録画できません。

TV-OUT

TV-OUT



<TV-OUT設定>

外部モニターなどを接続した場合、外部モニターなどに表示するPRO-WITNESS II 映像を設定します。

【設定項目】

OFF、カメラ1、カメラ2、カメラ1 + カメラ2、AUX2（※1）

※1 AUX2接続 & 設定時、常にカメラ1を出力します。AUX2への信号入力時のみ、カメラ2の出力に自動的に切り替わります。信号が途切れた場合、カメラ1の出力に戻ります。

音声録音

音声録音

☐ オフ ☒ オン

<音声録音のオンオフ設定>

音声録音オン・音声録音オフを設定します。

車両情報

車両情報

☐ 車両 0/6
☐ 乗務員 0/8

<車両情報を入力>

車両情報（車番・ナンバープレート）や乗務員情報を入力することができます。チェックボックスにチェックを入れ、入力を行ってください。録画した映像ファイルの車両・乗車している乗務員情報を判別することができます。

※車両情報は、最大6文字。乗務員情報は、最大8文字。

※半角英数字のみ入力可。（大文字小文字に注意。）

全角は不可。

入力した車両は、メイン画面右上の車番に表示されます。



OSD表示位置

OSD表示位置

右下表示
 右下表示
 右上表示

<OSD表示位置の設定>

カメラ1・カメラ2映像再生画面上の、OSD表示（録画日時）の位置（右上または右下）を設定します。

パスワード（管理者1・管理者2）

<管理者パスワード設定>

管理者名+パスワードの設定（最大2人まで）が可能です。管理者名・パスワード入力を行ってください。

※管理者名・パスワードは、最大15文字。

※半角英数字のみ入力可。(大文字小文字に注意。) 全角は不可。

※パスワードは忘れないように、きちんと保管してください。

SDカード内自体にセキュリティ（ロック）をかける機能で、管理者以外が映像再生できないようにすることができます。

※管理者名・パスワード設定されたSDの映像データを確認する場合は、管理者名+パスワードの入力が必要となります。

※管理者名・パスワードを変更したい場合、既存の設定を入力後、基本設定画面で新しい管理者名+パスワードを設定することができます。(上書き保存)

ACCオフタイマー

<ACC OFFタイマー設定>

ACC OFF（電源OFF）後の起動時間を設定します。エンジンを切っても、タイマー設定した時間、本体の起動が続き、録画を続けます。

左側が[時間]の設定（00～05）、右側が[分]の設定（00～59）です。最大5時間59分まで設定が可能です。

00：00の設定で、タイマーOFF相当となります。

00：00の設定時、ACC OFF（電源遮断）から約14秒後にシャットダウンされます。

※電源OFF後の録画時間機能は、車両の常時電源を使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。車両バッテリー上がりにご注意ください。

※バッテリーが弱くなっている車両は注意が必要です。

※バッテリー上がりに関して弊社は一切の責任を負いません。

※SDカードの専用フォーマットを行なった際、すべての設定値（ACCオフタイマーも）はリセットされますので、再度SD設定・保存を行ってください。

- カメラ2台接続時の最大消費は、DC12V-1A以下です。
エンジンタイプのフォークリフトでご使用の場合は、
通常90分未満の設定でご使用ください。90分以上の
場合は、バッテリーあがりの危険性があります。
また、バッテリータイプ48Vのフォークリフトでご使用の場合は、
タイマー設定最大値（5時間59分まで）でご使用されても
消費電流上問題はありません。
※ご使用されている環境・ご使用状況・バッテリーそのものの
状態により、適用しない場合があります。

強制終了ボタンの操作方法

※この強制終了ボタンは、ACC OFF&ACC OFFタイマー設定時（00:01／1分以上
設定時）のみ作動します。

ACC OFF後、ACC OFFタイマー中の起動時、強制的にPRO-WITNESS II の電源を切る
場合に使用します。緊急時、SDカードを取り出したい場合にご使用ください。

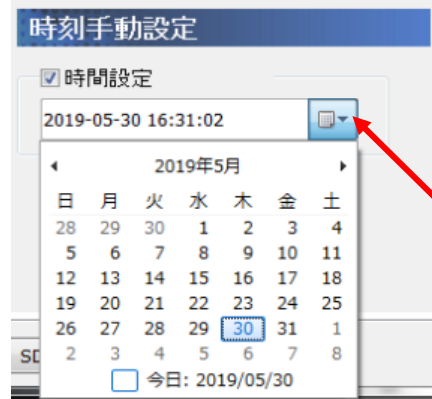
【操作手順】

- 1.ACC OFF後のACC OFFタイマー中、
SETボタンを長押ししてください。



- 2.PWR/REC LEDランプが緑色高速点滅しはじめます。
SETボタンから放してください。
- 3.約2、3秒後、強制終了し、すべてのLEDランプが消灯します。
すべてのLEDランプ消灯確認後、SDカードを取り出してください。
※Wi-Fi通信時も、約2、3秒後、強制終了し、すべてのLEDランプが消灯します。

時刻手動設定



GPS受信ができる環境の場合は、ACC ON時にGPSが受信されましたら、日時は自動的に校正されます。

<時刻手動設定>

屋内などでGPS受信ができない環境の場合、SDカード設定時に、手動で時刻設定をしてください。

【設定手順】

1. 時間設定に☑チェックを入れてください。
2. カレンダーマークをクリックし、プルダウン表示されるカレンダーで日付を選択してください。
3. カーソルを時間にあわせて、時間を入力してください。
4. [SDに保存]ボタンをクリックしてください。
5. 設定した時間の約20秒前にSDカードを挿入し、本体を起動させてください。設定した日時が反映されます。

Gセンサー感度設定



※感度が高くなるほど、衝撃が検知されやすくなります。検知しすぎる場合は、Gセンサー感度を低く変更してください。



<Gセンサー感度（衝撃検知感度）設定>

本体のGセンサー感度を設定します。

【Gセンサー感度設定】

「X軸・Y軸・Z軸のGセンサー数値」と「時間」で計算されています。

【Gセンサー数値（X軸・Y軸・Z軸）】

赤枠の操作バーでの手動調整か、右側の入力欄に数値を入力する2パターンで設定可能です。

設定単位・・・0.01G

（0.00G～2.00の範囲内で設定可）

※XとYとZを0.00Gに設定した場合、Gトリガーは反応しません。

【時間設定】

時間設定は操作バーで手動調整をしてください。

設定単位・・・30ms

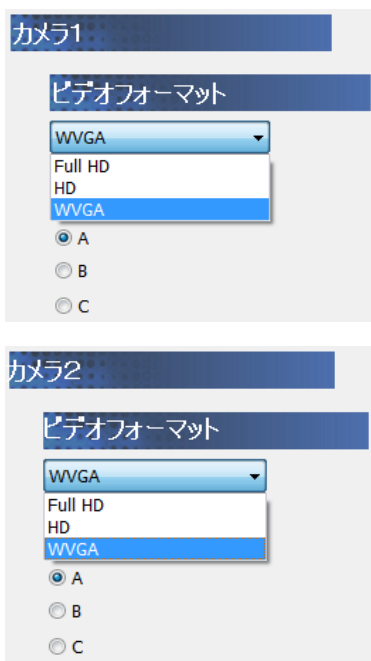
（90ms～300msの範囲内で設定可）

左上の☐ GトリガーOFFに、☑チェックを入れると、GトリガーOFF設定となります。

映像構成設定



カメラ1・カメラ2のビデオフォーマット・画質



<ビデオフォーマット・画質の設定>

カメラ1・カメラ2のビデオフォーマット（画像解像度）を Full HD・HD・WVGA、映像の画質をA・B・Cから設定します。

※ビデオフォーマット・画質は、カメラ1・カメラ2ごとに個別設定ができます。

映像構成レート



<映像構成レートの設定>

毎秒間の映像構成レート（フレームレート）を、30fps・15fpsから設定します。

※映像構成レートは、カメラ1・カメラ2共通となります。

本体設置位置設定



本体設置位置の設定は、位置A～位置Fの中から設定してください。

**PRO-WITNESS II 取付完了後、車両が水平な場所で、
必ず本体設置位置の校正（手動校正）を行ってください。**

※本体設置位置の校正（手動校正）は、ACC ON時のみ機能します。

本体設置位置の校正（手動校正）とは、本体の角度が縦向きなどに設置されている場合、その状態を垂直として認識校正する機能です。

この校正を行わないと、トリガーが頻繁にかかってしまいます。

※水平な場所に車両を止めて行ってください。傾斜があるところで取り付けを行いますと、本体設置位置の校正が正しく行われません。

※本体設置位置に対して、 $\pm 40^\circ$ 以内までは取り付け・本体設置位置の校正（手動校正）が可能です。

※本体設置位置の設定が保存されている専用SDカードを挿入してください。

（本体設置位置設定方法については、ビューソフト説明部分参照。）

Wi-Fi 設定



Wi-Fi通信の設定をしてください。

※Wi-Fi通信を使用しない場合も、OFF設定・保存が必要となります。

1.Wi-Fi モードの選択

■Wi-Fi通信を行わない場合→OFFを選択してください。

★モード1につきましては、弊社までお問い合わせください。

★モード2を選択→携帯端末と直接接続して、データ閲覧が可能



2.Wi-Fi 詳細の設定

■モード2

①パスワード（8桁以上、最大16桁まで）を設定してください。

※モード2 設定の場合、PRO-WITNESS II 本体機器の
 個体識別番号(P2+数字6桁)がSSIDとなります。

※半角英数字のみ入力可。（大文字小文字に注意。）全角は不可。

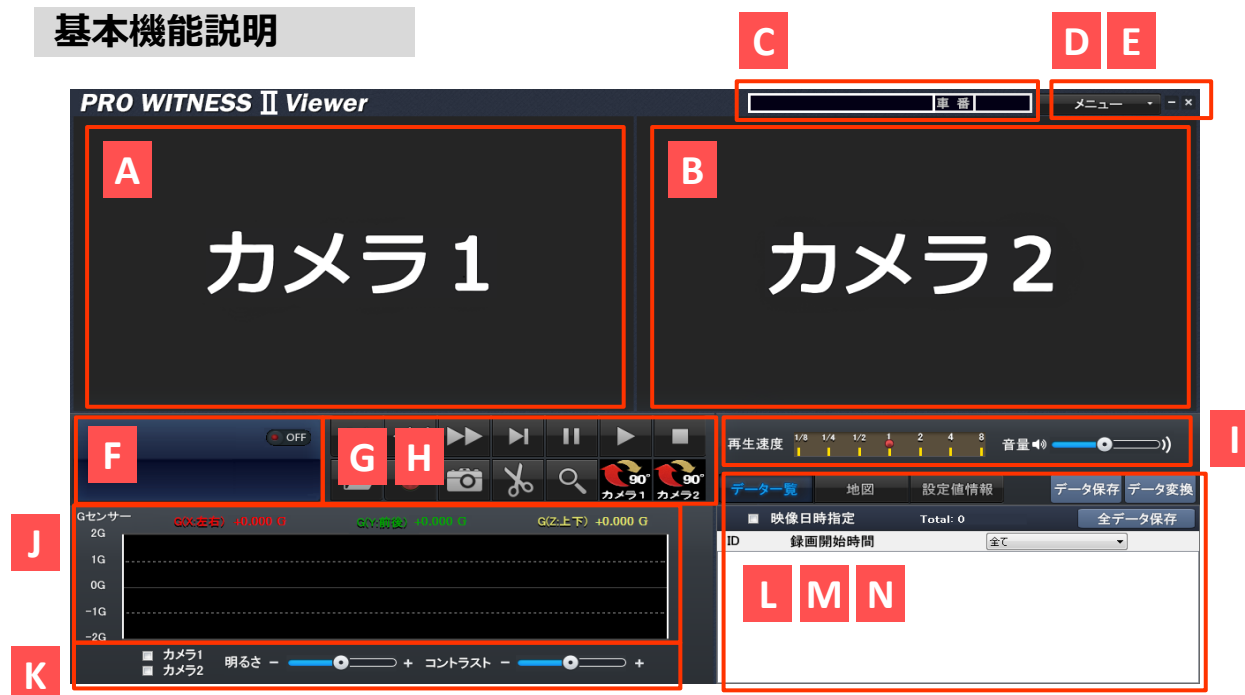
②通信データの画質（AまたはB）を選択してください。

専用ビューソフトの起動方法

1. インストールした「PRO-WITNESS II Viewer」のアイコンをダブルクリックしてください。
2. 「PRO-WITNESS II Viewer」が起動します。

※専用ビューソフトを、デスクトップなどにコピーする際は、フォルダごとコピーしてください。
フォルダごとコピーしていただかないと起動せず、正常にご使用いただけません。

基本機能説明



A	カメラ1 映像再生画面
B	カメラ2 映像再生画面
C	日時・車番表示
D	メニュー（SD設定・保存先設定・SD専用フォーマット・安全稼働レポート・車両稼働レポート・ソフトのバージョン情報）
E	最小化ボタン・閉じるボタン
F	速度表示、速度・地図表示ON/OFFボタン
G	操作ボタン
H	機能ボタン
I	再生速度・音量調整バー
J	解析グラフ（Gセンサーグラフ表示画面）
K	明るさ・コントラスト調整バー
L	データ一覧、地図（Google Map）、設定値情報
M	映像日時指定、total件数表示、全データ保存ボタン、トリガー別映像データ抽出
N	データ保存・データ変換ボタン

A	カメラ 1 映像再生画面
B	カメラ 2 映像再生画面

映像再生時、再生画面を表示します。

再生画面上にOSD表示（録画日時）が表示されます。

※OSD表示は、SD設定[基本設定]OSD表示位置で、右上表示か右下表示にするか設定可能です。

※OSD表示の大きさは、ビデオフォーマット設定により異なります。

※カメラ-IRあり映像は、赤外線発光時、モノクロ映像となります。



C	日時・車番表示
----------	---------

録画日時と車番（車両番号）を表示します。

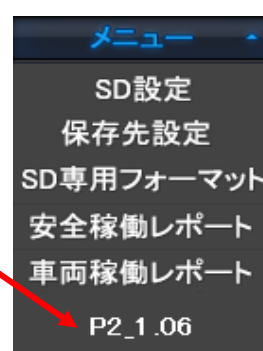
※車番は、SD設定[基本設定]車両情報・車両で設定時のみ、表示されます。



D	メニュー（SD設定・保存先設定・SD専用フォーマット・安全稼働レポート・車両稼働レポート・ソフトのバージョン情報）
----------	---

メニュー内のプルダウン項目から、SD設定・保存先設定・SD専用フォーマット・安全稼働レポート・車両稼働レポート・ソフトのバージョン情報ができます。

専用ビューワソフトのバージョン情報が表示されます。



E	最小化ボタン・閉じるボタン
----------	---------------

	＜最小化ボタン＞ 専用ビューワソフトの画面サイズを最小化し、パソコン画面のタスクバーに移動させます。
	＜閉じるボタン＞ 専用ビューワソフトを終了します。

F 速度表示、速度・地図表示ON/OFFボタン

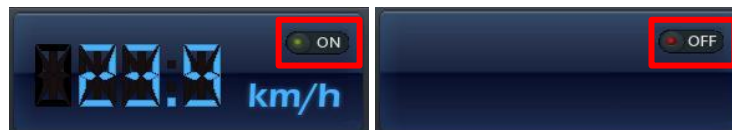
映像再生時、速度(GPSが取得できている場合)を表示します。

※本製品は、GPSによって速度（スピード）を算出しております。

低速走行やGPSの受信状況によって、速度（スピード）に誤差が生じたり、速度（スピード）算出が状況によっては正常に表示できない場合があります。また、地図表示も走行軌跡が途切れたり、同じ場所での動きとなるため、わかりにくい表示となる場合があります。

ON/OFFボタンのクリックで、速度・地図の表示・非表示を切り替えます。

※地図表示は、録画中にGPS受信していた場合、走行軌跡をGoogle mapで表示します。



	【ON時】	【OFF時】
速度（スピード）	表示	非表示
地図（Google Map）	表示	非表示
データ一覧・設定値情報	表示	表示



外部入力の信号を受けると、速度（スピード）表示画面に＜！＞マークが表示されます。

G 操作ボタン

映像の再生状態をコントロールする操作ボタンです。

	前のファイルを再生		コマ戻し
	コマ送り		次のファイルを再生
	一時停止		再生
	停止		

※コマ戻しは1秒単位、コマ送りは1コマ単位となります。
(30fps設定…30コマ、15fps設定…15コマ)

H 機能ボタン

映像の再生・保存時に使用する機能ボタンです。

	＜映像を開く＞ SDカードあるいは保存先から再生したい映像データを選択する。
	＜再生映像保存＞ 再生中の1 ファイルを保存する。
	＜スナップ写真＞ 映像データのスナップ写真（静止画）を保存する。
	＜保存範囲の指定＞ 指定した範囲の映像データを保存する。
	＜映像部分拡大＞ 映像データの部分拡大（ズーム）をする。
	＜映像再生画面 90度回転機能＞ 映像再生時、映像を時計回りに90度回転させる。

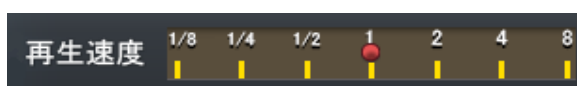
I 再生速度・音量調整バー

＜再生速度調整バー＞

映像の再生速度を調整します。

バーを右に移動すると再生速度が速くなり、
左に移動すると再生速度が遅くなります。

[1]が通常の数値となります。



＜音量調整バー＞

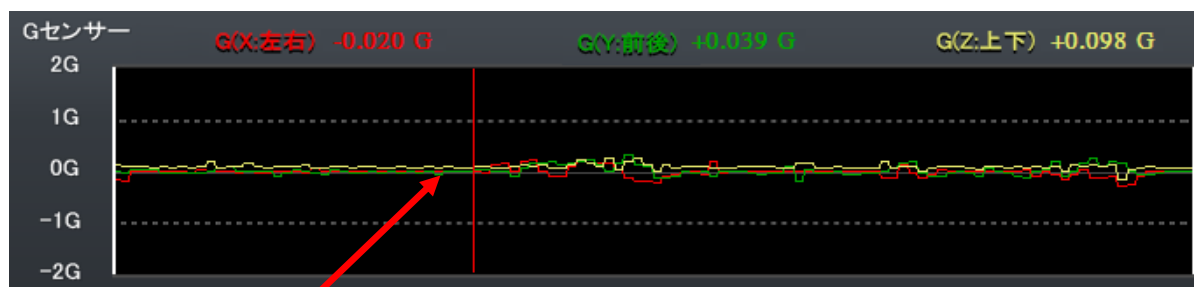
映像の音声音量を調整します。

バーを右に移動すると音声音量が大きくなり、
左に移動すると音声音量が小さくなります。



J 解析グラフ（Gセンサーグラフ表示画面）

走行中に、車両運行情報（Gセンサー）が取得できます。
GセンサーのX方向・Y方向・Z方向の数値を折れ線グラフで表示します。



再生バーで、現在どのあたりまで再生しているかを表示します。

＜Gセンサー表示＞

Gセンサーを数値・波形(X・Y・Z)で表示します。

X-G値(左右) : 赤、Y-G値(前後) : 緑、Z-G値(上下) : 黄緑

(1) X : 走行中、車両の水平状況

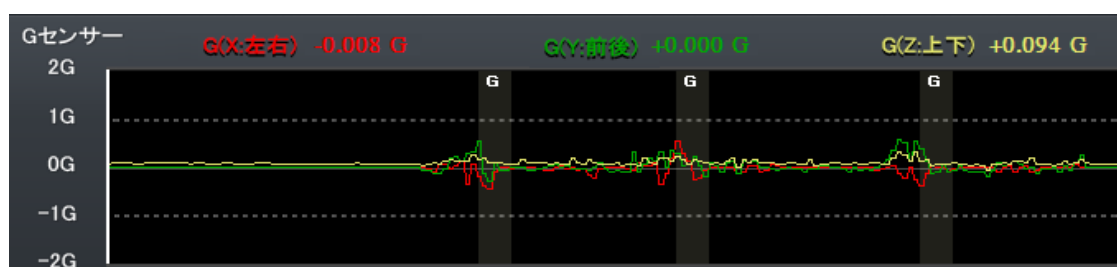
(2) Y : 走行中、車両の前後状況

(3) Z : 走行中、車両の上下状況

※X軸・Y軸・Z軸の左右・前後・上下は、本体の取り付け位置と方向により変わります。

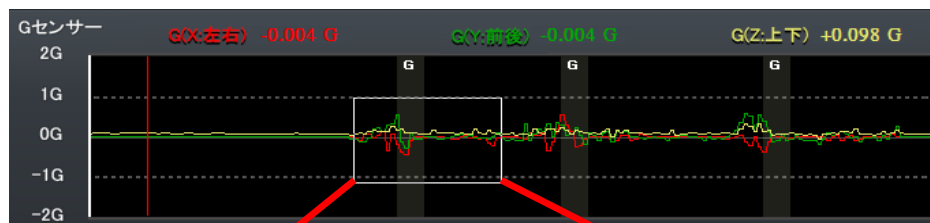
各トリガーが発生した部分（各設定を超えた場合）は、
薄いベースとアルファベットの略称が表示されます。

Gセンサー（G）、AUX1トリガー（O1）、AUX2トリガー（O2）



<解析グラフの部分拡大（伸ばし）機能>

1. 右クリックで部分拡大させたい部分（範囲）を選択。



2. 解析グラフ横幅まで部分拡大されます。

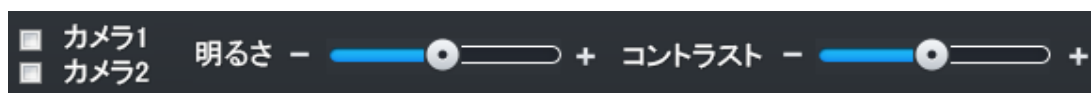


3. 右クリックで、元の解析グラフに戻ります。

K

明るさ・コントラスト調整バー

カメラ1・カメラ2に☒チェックを入れることで、映像の明るさ・コントラストが調整可能です。



<明るさ調整バー>

映像の明るさを調整します。

バーを+に移動すると映像が明るくなり、-に移動すると映像が暗くなります。

<コントラスト調整バー>

映像のコントラスト（明暗比）を調整します。

バーを+に移動するとコントラストが強くなり、画面にメリハリがつかます。

-に移動すると、コントラストが弱くなります。

L データー一覧、地図 (Google Map)、設定値情報

タグでデーター一覧、地図 (Google Map)、設定値情報表示の切り替えをします。

<データー一覧表示>

録画された映像データ (データー一覧) を、録画日時順に表示します。
再生したい映像データをダブルクリックすると、映像ファイルの再生ができます。

データ一覧		地図	設定値情報	データ保存	データ変換
■ 映像日時指定		Total: 82		全データ保存	
ID	録画開始時間	全て			
☐ 1	2019-05-28 10:01:50				
☐ 2	2019-05-28 10:06:53				
☐ 3	2019-05-28 10:11:55				
☐ 4	2019-05-28 10:16:57				
☐ 5	2019-05-28 10:21:59				
☐ 6	2019-05-28 10:43:13				
☐ 7	2019-05-28 10:48:22				
☐ 8	2019-05-28 10:53:31				
☐ 9	2019-05-28 10:58:41				

<地図 (Google Map)表示>

録画中にGPSが取得できていた場合、走行位置と走行軌跡をGoogle mapで表示します。

※パソコンがインターネット未接続の場合は表示されません。

※本製品は、GPSによって速度 (スピード) を算出しております。低速走行やGPSの受信状況によって、速度 (スピード) に誤差が生じたり、速度 (スピード) 算出が状況によっては正常に表示できない場合があります。
また、地図表示も走行軌跡が途切れたり、同じ場所での動きとなるため、わかりにくい表示となる場合があります。



※Google mapは参考イメージとなります。

Google Map走行経路の表示

GPS受信環境にある場合は、Google Map(インターネットに接続されている場合)に走行位置・走行軌跡が表示できます。

再生時、日時・Gセンサー波形・速度と地図 (GPS受信時のみ) などを表示します。

GPS未受信の映像データは、下のイラストが表示されます。



インターネットに接続されていない場合、下のイラストが表示されます。



<設定値情報>

映像データの設定値が確認できます。

データ一覧	地図	設定値情報	データ保存	データ変換
設定		設定値		
FW情報		V101		
ビデオフォーマット		FullHD;FullHD		
画質		A;A		
映像構成レート		30;30		
音声録音		オン		
チャンネル設定		2		
ACCオフタイマー		00:00		
Gセンサー		X: 0.40 G / 90 ms Y: 0.40 G / 90 ms Z: 1.25 G / 120 ms		
Wi-Fiモード		OFF		
TV-OUT		カメラ2		
位置		位置A/スロット正面(横)		
OSD表示位置		右上表示		

M

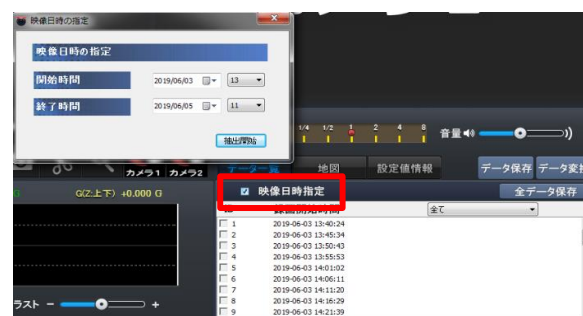
映像日時指定、total件数表示、全データ保存ボタン、トリガー別映像データ抽出

<映像日時指定>

映像日時指定で、再生したい映像データの時間帯を簡易抽出することができます。

1. データ一覧を表示後、
映像日時指定に☑を入れると、
映像日時の指定画面が表示されます。
2. 日付をカレンダーから選択、
開始時間・終了時間を選択してください。
3. [抽出開始]ボタンを押してください。
4. データ一覧に抽出した映像日時のみの
映像データが表示されます。

例えば…6/3 15:00～17:45を抽出
したい場合、カレンダーから6/3、
開始時間15、終了時間18を選択します。



<total件数表示>

映像データ一覧に表示されている
映像データのtotal件数（ファイル数）が
表示されます。



<全データ保存ボタン>

SDカード内の全ての映像データと同じものを保存する機能です。

※全データ保存は、パソコンへの保存が必須となります。

※SDカードからSDカード、デバイスへの全データ保存はできません。

※パソコンのスペック（空き容量）によって保存するまでに時間がかかります。

※パソコンの動作環境によって、HDDの空き容量や他のビューソフト起動によりフリーズしたり、保存に失敗する場合があります。



<トリガー別映像データ抽出>

各トリガーごとの映像データの抽出、再生することができます。

録画されたデータ一覧（5分ファイル）から、各トリガーごとの映像ファイル（衝撃発生前20秒、発生後10秒、合計30秒）を抽出（絞り込み）します。



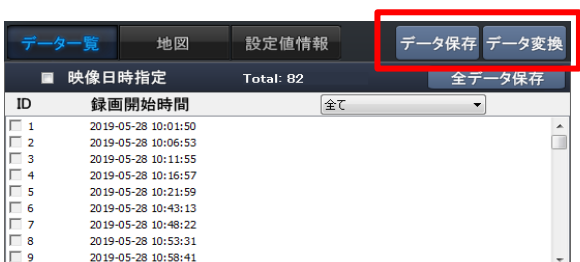
※全てとは、録画した全映像のことです。（トリガー有無関係無し）

N

データ保存・データ変換ボタン

<データ保存・データ変換ボタン>

映像データのデータ保存・データ変換をすることができます。



映像データの再生

映像を再生する

録画した映像データは、専用ビューワソフトで、再生して見るができます。

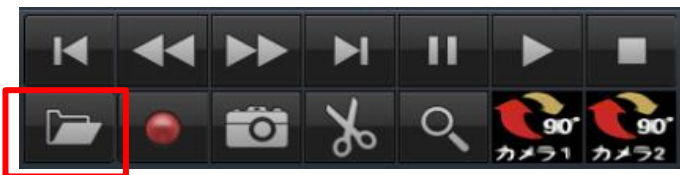
(カメラ1・カメラ2 映像を同時再生可)

※映像再生時、カメラ1とカメラ2の映像にズレが生じる場合があります。(映像にズレが生じることがありますが、映像データには問題ありません。)

SDカードを同一本体で使わない場合、映像データをパソコンに保存後、専用フォーマットを行ってからご使用ください。

映像再生手順

1. 録画した専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
(専用SDカード以外の場合は、手順2からご覧ください。)
2. 専用ビューワソフトを立ち上げ、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。

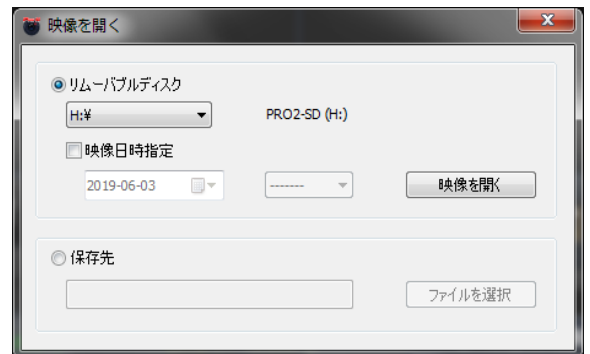


3. 再生したい映像データの保存先フォルダを選択してください。

専用SDカード内の映像を再生する場合

リムーバブルディスクの選択は不要です。

読み込みに、接続したSDカードが自動的に読み込まれます。
PRO2-SDと表示されているかご確認ください。

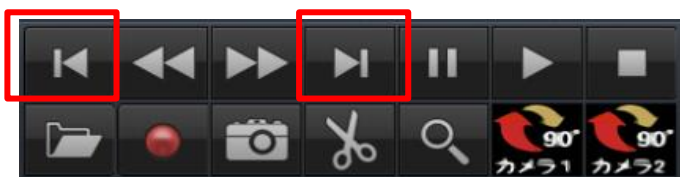


保存先から映像を再生する場合

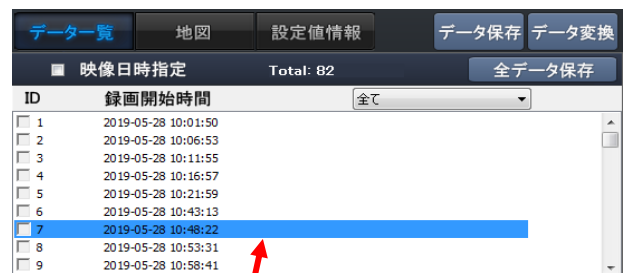
保存先からファイル選択 (映像データを選択) 後、
[開く] ボタンをクリックしてください。

- 専用SDカード内の映像データを、最初から映像日時指定して抽出することが可能です。
接続したSDカードの自動読み込み後、映像日時指定に☑を入れてください。
日時を指定後、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。
※指定した日時の前30分、後30分の合計1時間の映像 (※1) が抽出されます。
※1 映像ファイル名の開始時間が、合計1時間以内に含まれる映像。

4. データ一覧が自動的に表示されます。
再生したい映像データをダブルクリックすると、
再生が始まります。



[前のファイル][次のファイル]ボタンのクリックで
前のファイル、次のファイルを再生することが
できます。



再生中の映像データは、水色のバーで表示されます。

映像の全体拡大

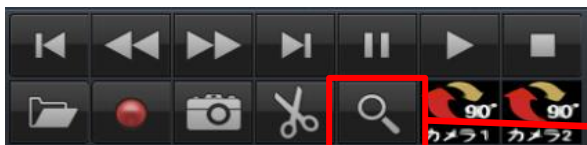
映像再生時、カメラ1・カメラ2 映像再生画面が、それぞれ全体拡大できます。

全体拡大（サブ画面無）	全体拡大（サブ画面有）
映像再生画面（カメラ1またはカメラ2）を 左ダブルクリック ↓ 専用ビューソフト画面まで全体拡大 ↓ さらに左ダブルクリック ↓ パソコン画面まで全体拡大 ↓ ※パソコン画面までの全体拡大時、 ↓ パソコンのスペースキーを押すことで、 ↓ 映像の一時停止・再生が可能です。 さらに左ダブルクリック ↓ 通常の映像再生画面に戻る	映像再生画面（カメラ1またはカメラ2）を 右ダブルクリック ↓ 専用ビューソフト画面まで全体拡大 ↓ さらに右ダブルクリック ↓ 通常の映像再生画面に戻る ※カメラ1を全体拡大した場合、カメラ2の 映像が右上にサブ画面として表示。 ※カメラ2を全体拡大した場合、カメラ1の 映像が右上にサブ画面として表示。

映像の部分拡大

映像再生時、一時停止中に、映像を部分拡大（ズーム）して見るができます。

1. 映像再生時、[一時停止]ボタンをクリックしてください。
2. [部分拡大]ボタンをクリックして、カメラ1または、カメラ2
映像再生画面にカーソルを移動させてください。

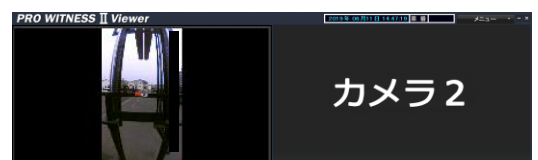
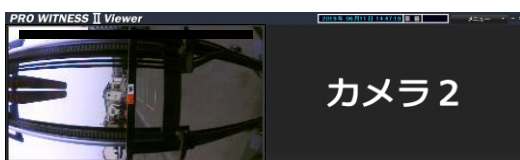


3. 水色の枠があらわれ、部分拡大（ズーム）されます。
4. [再生]ボタンをクリックすると、
元の映像再生画面に戻ります。

※画像は一部加工しています。

カメラ1・カメラ2 映像再生画面 90度回転機能

映像再生時、映像を時計回りに90度回転させて見るができます。
右記ボタン（カメラ1またはカメラ2）を**左クリック**してください。
映像が90度回転されます。さらにクリックするごとに、90度回転します。
4回のクリックで元の画面に戻ります。



※画像は一部加工しています。

外部信号、トリガー別映像データの再生

データ一覧から、プルダウン項目で抽出すると、
トリガー別の映像データの一覧が表示されます。

→ Gセンサー (G)、AUX1トリガー (O1)、AUX2トリガー (O2)

プルダウンから、各トリガーを抽出すると、
各トリガー別のデータ一覧に絞り込めます。
再生したい映像データをダブルクリックすると、
再生が始まります。

G : Gセンサーを抽出。

映像日時指定 Total: 11			全データ保存
ID	録画開始時間		
☐ 1	2019-05-16 11:43:56	G	
☐ 2	2019-05-16 11:48:58		
☐ 3	2019-05-16 11:53:59	G	
☐ 4	2019-05-16 11:59:01		
☐ 5	2019-05-16 12:04:02		
☐ 6	2019-05-16 12:09:04		
☐ 7	2019-05-16 12:14:05		
☐ 8	2019-05-16 12:19:06		
☐ 9	2019-05-16 12:24:07		

映像日時指定 Total: 11			全データ保存
ID	録画開始時間		
☐ 1	2019-05-16 11:43:56		
☐ 2	2019-05-16 11:48:58		
☐ 3	2019-05-16 11:53:59		
☐ 4	2019-05-16 11:59:01		
☐ 5	2019-05-16 12:04:02		
☐ 6	2019-05-16 12:09:04		
☐ 7	2019-05-16 12:14:05		
☐ 8	2019-05-16 12:19:06		
☐ 9	2019-05-16 12:24:07		

G : Gセンサーのみの映像データが抽出されます。

映像日時指定 Total: 4			全データ保存
ID	録画開始時間		
☐ 1	2019-05-16 11:43:59	G	
☐ 2	2019-05-16 11:44:18	G	
☐ 3	2019-05-16 11:44:28	G	
☐ 4	2019-05-16 11:55:58	G	

各トリガー別の映像データ (30秒ファイル) で抽出・映像確認後、
5分ファイルに戻りたい (5分ファイルを表示したい) 場合に、[全て]ボタン機能がオススメです。

映像日時指定 Total: 4			全データ保存
ID	録画開始時間		
☐ 1	2019-05-16 11:43:59	G, Gセンサー	
☐ 2	2019-05-16 11:44:18	G, Gセンサー	
☒ 3	2019-05-16 11:44:28	O2, AUX2トリガー	
☐ 4	2019-05-16 11:55:58	G	

■トリガー別一覧 (30秒ファイル)
で☒チェック有→
プルダウンで[全て]を選択

映像日時指定 Total: 11			全データ保存
ID	録画開始時間		
☒ 1	2019-05-16 11:43:56	G	
☐ 2	2019-05-16 11:48:58		
☐ 3	2019-05-16 11:53:59	G	
☐ 4	2019-05-16 11:59:01		
☐ 5	2019-05-16 12:04:02		
☐ 6	2019-05-16 12:09:04		
☐ 7	2019-05-16 12:14:05		
☐ 8	2019-05-16 12:19:06		
☐ 9	2019-05-16 12:24:07		

☒チェック有のトリガー別映像
ファイルが含まれる5分ファイルが、
データ一覧の1番上に表示されます。
※スクロールで前後の
5分ファイルの確認もできます。

■トリガー別一覧 (30秒ファイル) で☐チェック無→プルダウンで[全て]を選択した場合、
データ一覧 (5分ファイル) が、1ファイル目から表示されます。

	データ保存 (RAW形式)	データ変換 (AVI形式)
データ一覧 (1ファイル5分)	○ 保存手順 1	○ 保存手順 2
トリガー別一覧 (1ファイル30秒)	○ 保存手順 1	○ 保存手順 2
保存範囲の 指定ファイル	○ 保存手順 3	○ 保存手順 3
再生中の 1 ファイル (1ファイル5分)	○ 保存手順 4	×
スナップ写真	静止画（ビットマップ画像）として保存します。 保存手順 5	
全データ保存	SDカード内全ての映像データと同じものを データ保存します。 保存手順 6	

※パスワード設定されたSDカードから、RAW形式で保存した場合、パスワードも同時に保存されます。（映像再生時、パスワードの入力が必要となります。）

※データ変換時、カメラ1・カメラ2それぞれに音声・OSD表示が入ります。

※再生中の1ファイルは、データ保存のみ可能。

複数ファイルの保存・トリガー別ファイル・保存範囲の指定ファイルでの使用不可。

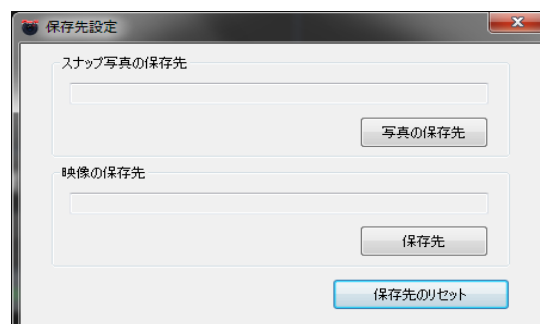
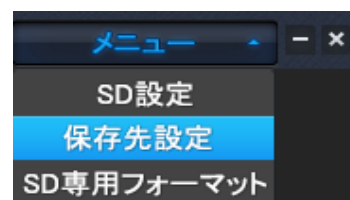
保存先設定

事前に指定した保存先に、常に自動保存する場合

- 1.専用ビューソフトを立ち上げ、メイン画面右上[メニュー]
プルダウン項目から、[保存先設定]をクリックしてください。
- 2.画面のスナップ写真の保存先「写真の保存先」ボタン、
または、映像の保存先[保存先]ボタンをクリックし、
保存先を設定してください。
- 3.右の画面で保存先を指定した場合、映像データの
保存時、手順2で指定した保存先に自動的に保存
されます。

※毎回、保存先指定画面が表示されません。

※保存先を指定していても、再生中の 1 ファイル
(保存手順4)、全データ保存(保存手順6)は、
保存先指定画面が必ず表示されます。



毎回、保存先を指定して、保存する場合

右上の保存先設定画面が、すべてblank（空白）であることをご確認ください。

映像データの保存時、毎回、保存先指定画面が表示されます。その都度、保存先を指定してください。

[保存先のリセット]のクリックで、保存先を初期化（blank（空白））にします。

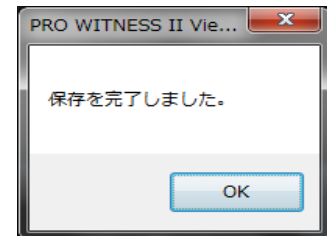
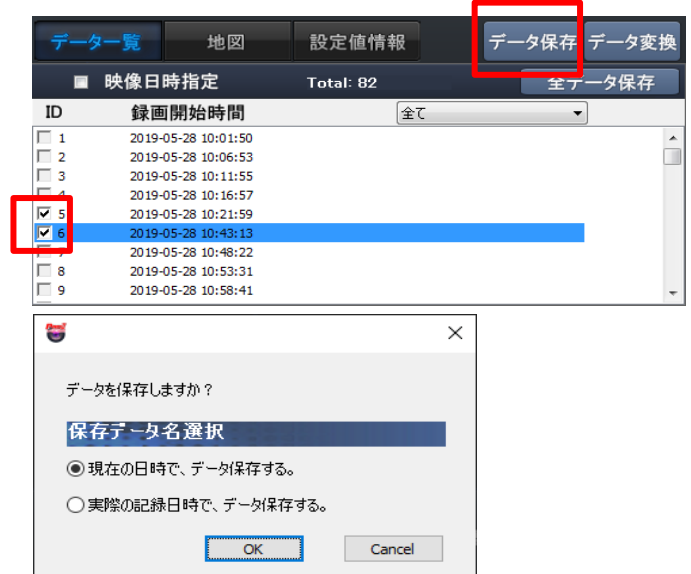
保存手順1

データー一覧・トリガー別一覧のデータ保存

データー一覧・トリガー別一覧をデータ保存（RAW形式 ※専用ビューソフトのみで再生可能なデータ）します。

1. 保存したい映像データの左側のチェックボックスにチェックを入れてください。
※チェックボックスは、ワンクリックで☑が入り、ダブルクリックで、チェックが外れます。
2. [データ保存]ボタンをクリック後、右の画面が表示されます。
保存するデータ名をどちらにするか選択後、[OK]ボタンをクリックしてください。
3. 保存先指定画面が表示されます。
保存先を指定してください。
4. 保存が開始されます。
5. [保存を完了しました]と表示されましたら保存完了です。

※仕様の関係上、データ保存した際、録画時間より長く保存される場合があります。

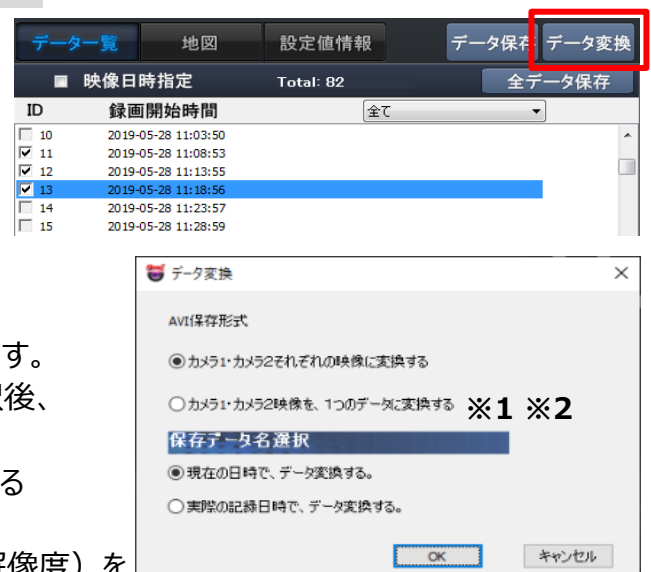


保存手順2

データー一覧・トリガー別一覧のデータ変換

データー一覧・トリガー別一覧をデータ変換（AVI形式 ※パソコンの環境があれば、専用ビューソフトがなくても再生可能なデータ）します。

1. 変換したい映像データの左側のチェックボックスにチェックを入れてください。
2. 保存先指定画面が表示されます。
保存先を指定してください。
3. [データ変換]ボタンをクリック後、右の画面が表示されます。
AVI保存形式、保存するデータ名をどちらにするか選択後、[OK]ボタンをクリックしてください。
※1 変換後のファイル容量が1GBを超えると、保存されるAVIファイルが複数ファイルに分けられます。
※2 カメラ1・カメラ2で異なるビデオフォーマット（画像解像度）を設定した場合、映像の大きさは異なります。
4. 変換が開始されます。
5. [保存を完了しました]と表示されましたら変換完了です。

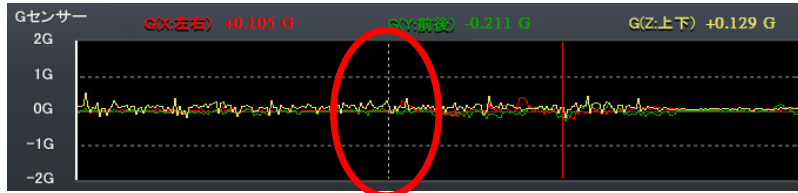
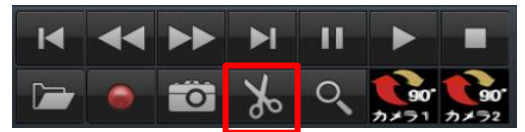


保存手順 3

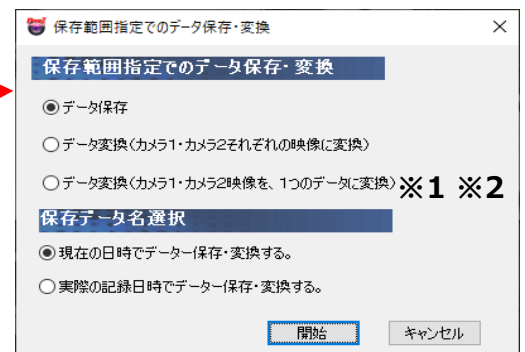
保存範囲の指定ファイルのデータ保存・データ変換

映像データの再生中に、保存したい映像部分（任意の保存範囲）のみを切り取り保存することができます。

- 1.映像を再生しながら、保存を開始したいところで、
[保存範囲の指定]ボタンをクリックしてください。
- 2.解析グラフ内に、白色の点線が表示されます。



- 3.そのまま再生し、保存を終了したいところで、
再度[保存範囲の指定]ボタンをクリックしてください。
- 4.保存先指定画面が表示されます。保存先を指定してください。
- 5.右の画面が表示されます。
保存形式、保存するデータ名をどちらにするか選択後、
[開始]ボタンをクリックしてください。
※1 変換後のファイル容量が1GBを超えると、保存される
AVIファイルが複数ファイルに分けられます。
※2 カメラ1・カメラ2で異なるビデオフォーマット（画像解像度）を
設定した場合、映像の大きさは異なります。



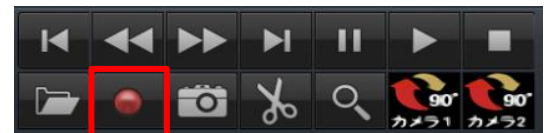
- 6.保存・変換が開始されます。
- 7.[保存を完了しました]と表示されましたら、保存・変換完了です。
※仕様の関係上、データ保存した際、録画時間より長く保存される場合があります。

保存手順 4

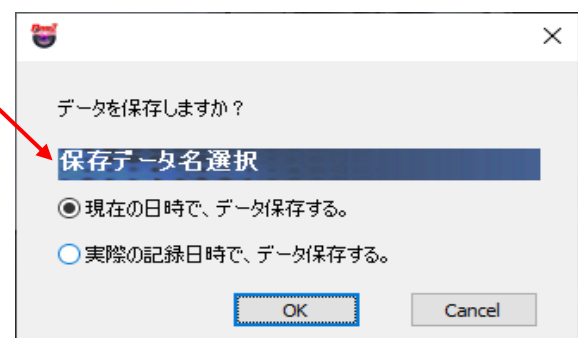
再生中の1ファイル（1ファイル5分）のデータ保存

映像ファイルの再生中、その1ファイルのみをデータ保存することができます。

- 1.映像再生中に、[再生映像保存]ボタンをクリックしてください。



- 2.右の画面が表示されます。
保存するデータ名をどちらにするか選択後、
[OK]ボタンをクリックしてください。
- 3.保存先指定画面が表示されます。
保存先を指定してください。
- 4.保存が開始されます。
- 5.[保存を完了しました]と表示されましたら
保存完了です。



保存手順5

スナップ写真（静止画）の保存

映像ファイルの再生中、保存したい瞬間の映像再生画面を、スナップ写真（静止画）として保存することができます。

- 1.映像再生中に、保存したい画面で
[一時停止]ボタンをクリックしてください。
- 2.[スナップ写真]ボタンをクリックしてください。
- 3.保存先指定画面が表示されます。
保存先を指定してください。
- 4.スナップ写真が保存されます。
3枚のスナップ写真（AP画面全体、カメラ1映像再生画面、
カメラ2映像再生画面）が保存されます。
※カメラ1のみの取付時、保存されるスナップ写真は
AP画面全体、カメラ1映像再生画面の2枚となります。

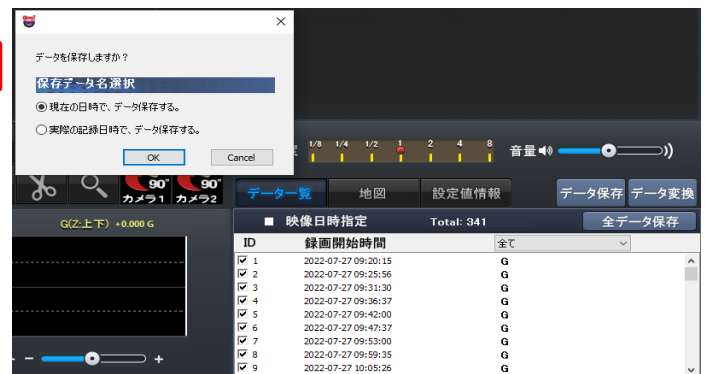


保存手順6

全データ保存

SDカード内全ての映像データと同じものを保存することができます。

- 1.録画した専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
- 2.専用ビューワソフトを立ち上げ、[映像を開く]ボタンをクリックしてください。
- 3.データ一覧が自動的に表示されます。
- 4.[全データ保存]ボタンをクリックしてください。
- 5.データ一覧すべてのチェックボックスに、☑チェックが入り、下記の画面が表示されます。
保存するデータ名をどちらにするか選択後、[OK]ボタンをクリックしてください。



- 6.保存先指定画面が表示されます。
保存先を指定してください。
- 7.保存が開始されます。
- 8.[保存を完了しました]と表示されましたら保存完了です。
※全データ保存は、パソコンへの保存が必須となります。
※SDカードからSDカード、デバイスへの全データ保存はできません。
※パソコンのスペック（空き容量）によって、保存するまで時間がかかります。
※パソコンの使用環境によって、HDDの空き容量や他のソフトを実施中にてフリーズしたり、
保存に失敗する場合もあります。

SDカードの専用フォーマット方法

SDカードをフォーマットする

PRO-WITNESS II は、SDカードの専用フォーマットを行っていないとご使用いただけません。
(出荷時に同梱されるSDカードは専用フォーマット済みです。SDカード名称：PRO2-SD)
※SD専用フォーマットがされていないSDカードを本体に挿入すると、起動時、
ERR (エラー) ランプが赤色点滅し、正常起動ができませんのでご注意ください。

Q	どのようなとき、専用SDカードの専用フォーマットが必要ですか？
A	専用SDカードを使用する前に、専用ビューワソフトで専用フォーマットをすることで、お使いいただけます。また、専用SDカードの映像データを消去したい場合も、必ず専用ビューワソフトのSD専用フォーマットをお使いください。

専用SDカードのフォーマットについて

専用SDカードをWindowsフォーマットしないでください。

「専用ビューワソフトのSD専用フォーマット」以外でのフォーマットは行わないでください。

Windowsフォーマットを行うと、記録したデータの一部が消去されますので、ご注意ください。

弊社商品PRO-WITNESS II は特殊フォーマットとなります。万が一、Windowsフォーマットしてしまった場合は、再度、専用ビューワソフトで、SD専用フォーマットを行ってください。

※SD専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されます。

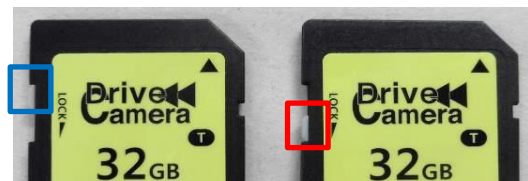
専用SDカードの映像データを消去する場合は、必ず専用ビューワソフトの専用フォーマットで消去してください。

※専用SDカードの専用フォーマットを行うと、専用SDカードの映像データは消去されますので、必要な映像データはパソコンなどへ保存 (バックアップ) してください。

使用上のご注意

※SDカードを専用フォーマットする前に、
SDカードの状態をご確認ください。
SDカードのスイッチ「LOCK」(書き込み禁止) が
解除されていることをご確認ください。

※シールの仕様が変更になる場合がございます。

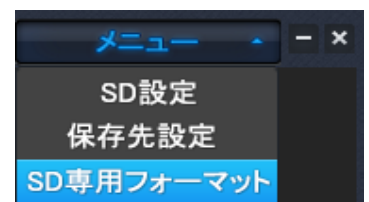


スイッチが上
「LOCK」解除

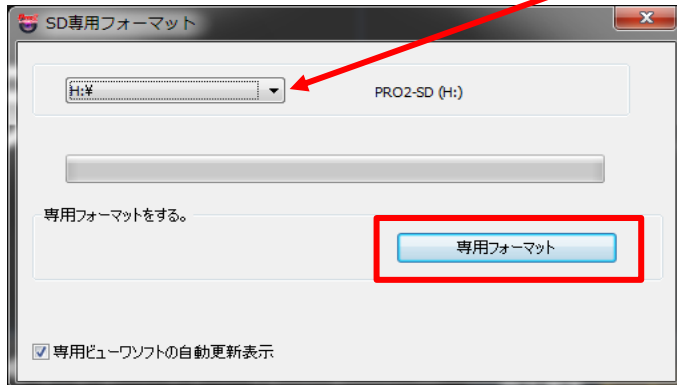
スイッチが下
「LOCK」

専用フォーマット手順

1. 専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2. 専用ビューワソフトを立ち上げ、メイン画面右上[メニュー]
プルダウン項目から、[SD専用フォーマット]をクリックしてください。

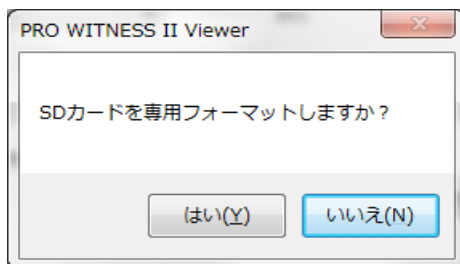


3. 下記画面が表示されます。SD専用フォーマットを行うリムーバブルディスクを確認後、[専用フォーマット]ボタンをクリックしてください。

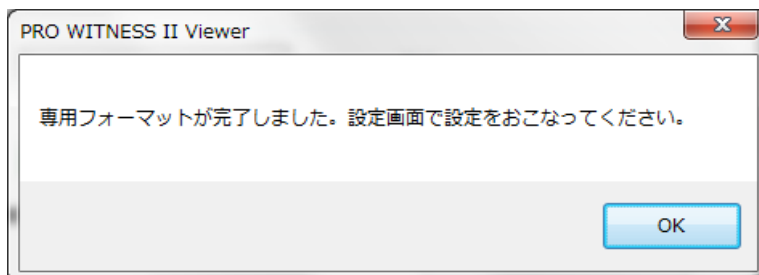


※リムーバブルディスクの選択は不要です。
読込先に、接続したSDカードが自動的に読み込まれます。
PRO2-SDと表示されているかご確認ください。

4. 「SDカードを専用フォーマットしますか？」のメッセージが表示されます。
[はい]をクリックしてください。



5. SD専用フォーマットが完了しましたら、下記画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックして、SD専用フォーマットを終了させてください。



SD専用フォーマット後、メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から、「SD設定」をクリックし、SDカードの各種設定・保存を行ってください。
また、SDカードの専用フォーマットを行った際、すべての設定値はリセットされます。
再度、SDカードの各種設定・保存を行ってください。

使用上のご注意

※SDカードのスイッチ「LOCK」（書き込み禁止）が解除されていても、専用フォーマットできない場合は、「管理者アカウント」にて、専用フォーマットを行ってください。

安全稼働レポート

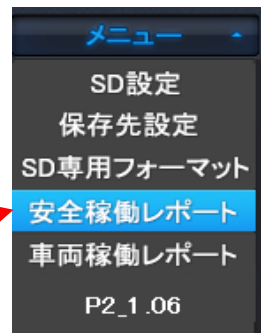
映像を管理する

※安全稼働レポートは、予告なく仕様変更をすることがありますので、ご了承ください。

録画された映像データから、運行状況を把握し、運行管理をすることができます。
(安全稼働レポート印刷可能)

作成手順

1. 専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2. 専用ビューソフトを立ち上げ、
メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から
[安全稼働レポート]をクリックしてください。
3. 右記のレポート作成画面が表示されます。
リムーバブルディスク選択後、安全稼働レポートを
作成したい映像データの日時（開始日付・時間～
終了日付・時間）を選択してください。
※日付・時間設定は、**24時間以内**で
設定してください。
※録画されている映像データの範囲内で、
日付・時間を選択してください。
4. 会社名・車番・乗務員名（氏名）を
入力してください。
※最大10文字。
5. レポート評価値の設定をしてください。



SDカードの設定で
[Gセンサー感度]設定がON（有り）の場合

レポート評価値が、設定されている
Gセンサー感度の数値に切り替わります。

SDカードの設定で
[Gセンサー感度]設定がOFF（無し）の場合

レポート評価値が、固定（デフォルト）の
数値に切り替わります。
(X:0.80G、Y:0.70G、Z:0.80G)

設定する評価値は「安全稼働レポート」の以下の部分に反映されます。

X-G 値 (左右)→急ハンドルの実測回数

Y-G 値 (前後)→急発進・急ブレーキの実測回数

Z-G 値 (上下)→段差振動の実測回数

※X軸・Y軸・Z軸の左右・前後・上下は、本体の取り付け位置と方向により変わります。

レポート評価値を、専用ビューソフトに最大3パターン保存することができます。

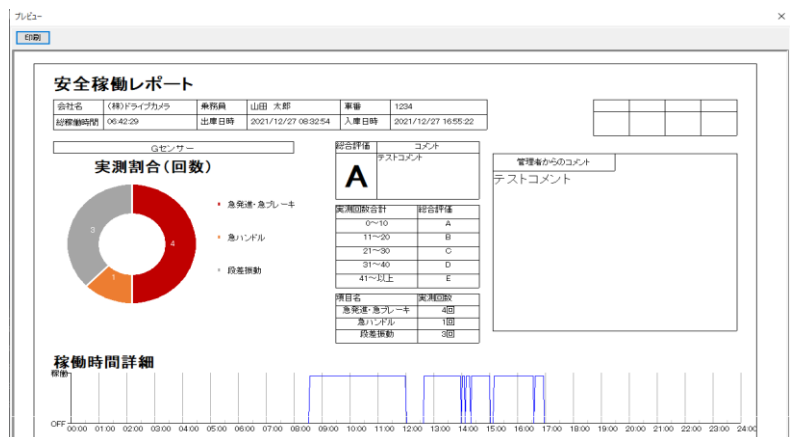
- 1.評価値保存先を、設定A・設定B・設定Cから選択します。
- 2.操作バーを動かし、X軸・Y軸・Z軸のGセンサー数値を設定してください。
設定単位・・・0.01G (0.00G～2.00の範囲内で設定可)
- 3.[評価値保存]ボタンをクリックしてください。
- 4.「評価値を保存しました！」のメッセージが表示されましたら、評価値の保存が完了となります。
[OK]ボタンをクリックして、設定を終了させてください。

※デフォルト選択時、固定（デフォルト）の数値が表示されます。
(X:0.80G、Y:0.70G、Z:0.80G)

- 6.評価基準の[設定]ボタンをクリックしてください。
右記の総合評価設定画面が表示されます。
ランクの評価基準となる「実測回数合計」の設定、レポートの「コメント」の入力後、[更新]ボタンをクリックしてください。
(「実測回数合計」「コメント」が専用ビューソフトに保存されます。)

※「管理者からのコメント」は保存されません。

- 7.「更新しました！」のメッセージが表示されましたら、
[OK]ボタンをクリックしてください。



- 9.印刷プレビューの[印刷]ボタンをクリックしてください。安全稼働レポートが印刷されます。

車両稼働レポート

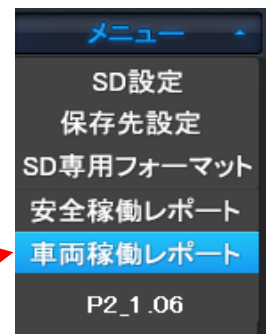
映像を管理する

※車両稼働レポートは、予告なく仕様変更をすることがありますので、ご了承ください。

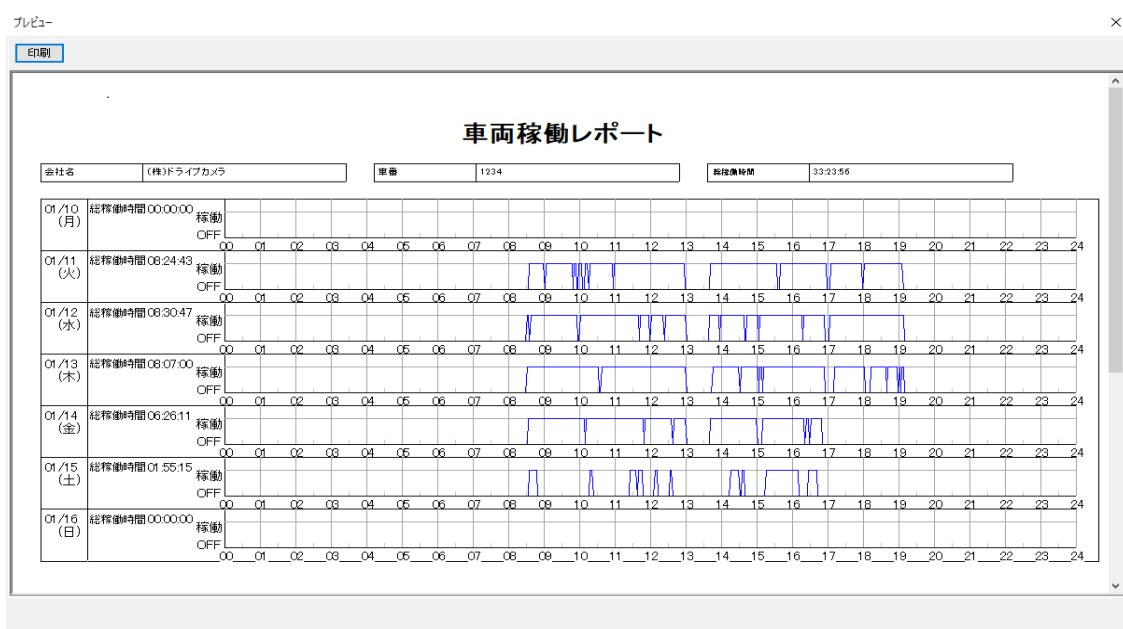
録画された映像データから、総稼働時間を確認することができます。
(車両稼働レポート印刷可能)

作成手順

1. 専用SDカードをカードリーダーに入れ、パソコンに接続してください。
2. 専用ビューソフトを立ち上げ、
メイン画面右上[メニュー]プルダウン項目から
[車両稼働レポート]をクリックしてください。
3. 下記のレポート作成画面が表示されます。
リムーバブルディスク選択後、車両稼働レポートを作成したい映像データの日付を選択してください。
※日付設定は、**7日間以内**で設定してください。
※録画されている映像データの範囲内で、日付を選択してください。



4. 会社名・車番を入力してください。
※最大10文字。
5. 印刷するプリンタの選択後、[プレビュー]ボタンをクリックしてください。印刷プレビューが表示されます。



6. 印刷プレビューの[印刷]ボタンをクリックしてください。車両稼働レポートが印刷されます。

製品仕様

本体

電源	DC8V～40V（12V車・24V車対応）
消費電流	最大1A /12V(カメラ2台+インジケータユニットを含む) 暗電流30mA以下
防水レベル	IP66
動作温度範囲	-25℃ ～ +70℃
保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃
動作湿度範囲	20%～80%
保存湿度範囲	10%～90%
外形寸法 (縦×横×高さ)	約85mm×約133mm×約32mm（ケーブル除く）
本体重量	約312 g（ケーブル含む）
記録メディア	専用SDカード(防水IPX7／-25°～+85°対応)
画像解像度	Full HD（1920×1080）・HD（1280×768） WVGA(720×480)・QWVGA（320×240）
画像フレームレート	MAX 各カメラ 30フレーム/秒
	MIN 各カメラ 15フレーム/秒
	通信（モード1） 各カメラ 15フレーム・10フレーム/秒
	通信（モード2） 各カメラ 15フレーム・10フレーム/秒
映像記録方式	専用記録方式(専用ビューワソフト必要)
音声記録方式	専用記録方式(専用ビューワソフト必要)
記録データ	映像、日付と時間、音声、GPSデータ、信号入力(外部)、 Gセンサーデータ、Gトリガー
映像入力	2カメラ（Full HD・HD・WVGA）まで接続可能
バックアップ	B+遮断後3秒記録し通常終了 (スーパーキャパシター内蔵)
Gセンサー	Gセンサー内蔵
Gトリガー	Gセンサー感度から設定
認証	FCC CE
日時指定	GPSにて、起動時に自動校正 GPS受信圏外でのみご使用の場合は、専用ビューワ ソフトにて日時をSDカードに設定(手動設定)
Wi-Fi	Wi-Fiモジュールをオンボード (Wi-Fi通信時、通信用アンテナ/オプション品が 必要となります。)
接続(入力)	電源(B+、ACC、アース) インジケータユニット、カメラ（1・2） AUX1・AUX2（12V～24V）、TV-OUT
付属品	本体用電源ケーブル／本体用マジックテープ×2枚

製品仕様

カメラ-IRなし

電源	DC5V
消費電流	約300mA /5V
防水レベル	IP67
動作温度範囲	-25℃ ～ +70℃
保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃
動作湿度範囲	20%～80%
保存湿度範囲	10%～90%
外形寸法 (縦×横×高さ)	約53mm×約43mm (治具付高さ約60mm)
重量	約74 g (ステイ含む)
ケーブルの長さ	3.5m、5m、10m (カメラケーブル脱着式) ※ケーブル同士の接続 (ジョイント) 可能。 ※カメラ用ケーブルの延長は、各ケーブル組み 合わせで、最大3本まで (10m×3本 = 最大30m)
撮影素子	200万画素 CMOS センサー
レンズ画角	水平 140°/ 垂直100°
画像解像度	Full HD (1920×1080) ・HD (1280×768) WVGA(720×480)・QWVGA (320×240)
付属品	カメラ用耐熱・防水両面テープ(3mm厚)×2枚 ※ 1 枚は予備となります。

カメラ-IRあり (赤外線ランプ付き)

※カメラ-IRあり映像は、赤外線発光時、モノクロ映像となります。

電源	DC5V
消費電流	約350mA /5V (赤外線起動後、約350mA±10%)
防水レベル	IP67
動作温度範囲	-25℃ ～ +70℃
保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃
動作湿度範囲	20%～80%
保存湿度範囲	10%～90%
外形寸法 (縦×横×高さ)	約55mm×約50mm (治具付高さ68mm)
重量	約95 g (ステイ含む)
ケーブルの長さ	3.5m、5m、10m (カメラケーブル脱着式) ※ケーブル同士の接続 (ジョイント) 可能。 ※カメラ用ケーブルの延長は、各ケーブル組み 合わせで、最大3本まで (10m×3本 = 最大30m)
撮影素子	200万画素 CMOS センサー
レンズ画角	水平 140°/ 垂直100°
画像解像度	Full HD (1920×1080) ・HD (1280×768) WVGA(720×480)・QWVGA (320×240)
付属品	カメラ用耐熱・防水両面テープ(3mm厚)×2枚 ※ 1 枚は予備となります。

製品仕様

インジケータユニット（本体個装箱に同梱）

電源	DC5V
消費電流	約100mA /5V
防水レベル	IP67
動作温度範囲	-25℃ ～ +70℃
保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃
動作湿度範囲	20%～80%
保存湿度範囲	10%～90%
外形寸法 (縦×横×高さ)	約50mm×約45mm×約22mm
重量	約50 g
GPS	GPSモジュール内蔵
マイク	防水マイク内蔵
付属品	インジケータ用電源ケーブル インジケータ用耐熱・防水両面テープ(3mm厚)

DC-DC（48V～80V仕様）

※48V以上の車両でPRO-WITNESS IIをご使用の場合、必ずDC-DCをご使用ください。

入力電圧	40V～88V
出力電圧	12V
入力電圧(ACC)	40V～88V
出力電圧(ACC)	12V
過電圧保護	[本体電源がONの場合] 電圧88Vまで
	[本体電源がOFFの場合] B+のみ140Vまで
過電流保護	2A
防水レベル	IP67
動作温度範囲	-25℃ ～ +70℃
保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃
動作湿度範囲	20%～80%
保存湿度範囲	10%～90%
外形寸法 (縦×横×高さ)	約90mm×約62mm×約35mm
	(コネクタ・ケーブル除く)
重量	約290 g（ケーブル含む）
付属品	DC-DC用マジックテープ

困ったときには

故障かな？と思ったら、もう一度下記内容をご確認ください。

症状	チェック項目	説明書 参照ページ
PWR(POWER)ランプが点灯しない。	■電源ケーブルが外れていないか、配線が間違っていないか確認してください。48V以上の車両で ご使用されている場合は専用DC-DCコンバーターの 状況も確認してください。 ※機器本体はDC12V車・24V車仕様です。間違っ て48V車両、それ以上の車両に直接接続しますと、 機器本体自体が故障し電源も入らなくなりますので ご注意ください。 ■ヒューズが切れていないか確認してください。	P8、9
映像が録画できない。	■本体のLEDランプまたは、インジケータのLED ランプが正常に起動しているか確認してください。 もし異常時の点灯や点滅しているLEDランプがある 場合、状況に応じてカメラの配線や専用SDカード などを確認してください。	P20、21
	■本体とカメラケーブル、カメラケーブルとカメラの 接合部（コネクタ）がきちんと接続されて いますか。	P13
	■付属品の専用SDカードが正しく挿入されていますか。	P17
	■専用SDカードのスライドスイッチが「LOCK」書き込み 禁止になっていませんか。	P54
	■専用SDカードを間違えて、専用ビューソフトでの 専用フォーマット以外でフォーマットを行っていません か。もし、行ってしまった場合は、専用ビューソフトで、 SD専用フォーマットを行ってください。	P54～
	■専用SDカードは消耗品です。定期的に新品に交換 してください。専用SDカード以外のご使用できません のでご注意ください。	-
	■本体から出ているケーブル、カメラケーブル、カメラから 出ているケーブルに傷や破損個所がないか確認して ください。	-
録画映像にチラつきがある。	■本体とカメラケーブル、カメラケーブルとカメラの接合部 （コネクタ）を一度外し、再度接続してください。 コネクタカバーをきちんと締めてください。	P13
起動時や異常発生時などにブザー音・ ガイダンス音は鳴りますか。	■ブザー音・ガイダンス音などは鳴りません。動作状況は 本体または、インジケータのLEDランプで確認して ください。	P20、21

症状	チェック項目	取扱説明書 参照ページ
録画映像を再生するには？	■ 専用ビューソフトを付属品のCD-ROMより、パソコンにインストールしご使用ください。	P24～
再生映像が逆さまに映っている。	■ 取り付けたカメラの上下位置の確認をしてください。	P15、16
インジケータユニットのPWR（POWER）ランプが点灯しない。	■ 本体とインジケータユニット用電源ケーブル、インジケータユニット用電源ケーブルとインジケータが、それぞれきちんと接続されているか確認してください。	P12
カメラ2台接続時、本体とインジケータともにLEDランプは正常点灯しているが、片方のカメラ映像が映っていない。	■ 専用SDカード設定画面のカメラのチャンネル設定にチェック（2カメラ）が入っているか確認してください。	P30
本体のCAM 2 LEDランプとインジケータユニットのERRランプが赤色点灯する。	■ 専用SDカード設定画面のカメラのチャンネル設定のチェックを外さずに、1カメラ（カメラ1台）で起動した場合、赤色点灯します。チェックを外してください。	P30
音声録音がされていない。	■ 専用SDカード設定画面の音声録音設定にチェック（オン）が入っているか確認してください。	P31
録画データの日付や時刻が合っていない。	■ GPSの受信をおこなってください。	P21
	■ GPSの受信ができない環境でご使用の場合は、手動で設定をおこなってください。	P34

**上記内容にてご確認いただいても、症状が治まらない場合は、機器自体の故障の可能性が
あります。お買い求めの販売店までお問い合わせください。**

アフターサービスについて

1. 本製品には保証書を添付しております。
保証書には、必ず「販売店名、お買い上げ日」などの必要事項の記入の有無、および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
3. 修理ご依頼の際は、下記の点にご注意ください。
 - ◆修理の受付は、お求めの販売店が行います。
 - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
 - ◆保証書に記載しております保証規定に基づいて、無料で修理いたします。※修理、点検に要する商品の車両からの脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望により、有償で修理をお引き受けいたします。お求めの販売店にお持ち込みください。
4. 出張による修理、点検は行っておりません。

製品保証書

保証契約約款

この度はドライブレコーダー「PRO-WITNESS II」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この保証書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げ日から下記保証期間中に、取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、記載内容に基づきお買い上げの販売店に、商品をご持参の上ご依頼ください。

◆保証規定 1

1. 保証期間中でもこのような場合には有償修理となります。
 - a 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または破損
 - b お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、輸送などによる故障または破損
 - c 火災、地震、水害などの天災または公害、煙害、指定外の電源使用その他の外的要因による故障や破損
 - d 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用したときの故障、または破損
 - e 取付機器との組み合わせや互換性による原因で発生した症状
 - f 故障の原因が本製品以外にある場合
 - g 本書の提示がない場合
 - h 本書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは記載事項を書きかえられた場合
 - i 消耗品の交換、仕様変更など
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付されたときの送料や出張修理を行ったときの出張料はお客様のご負担となります。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効となります。
4. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

◆保証規定 2

PRO-WITNESS II は、常時録画・録音で映像と音声を記録する装置ですが、すべての状況において映像と音声を記録することを保証するものではありません。
何らかの要因で映像や音声記録されなかった場合、または記録された映像や音声データが破損していた場合による損害、本製品の故障や本製品を使用することによって生じた損害について、弊社は一切責任を負いません。

◆保証書

製品名	PRO-WITNESS II	
製品シリアル番号	本体（インジケター）	
	カメラ	
	DC-DCコンバーター	
保証期間（西暦）	年 月 日から1年間	
お客様情報 （ご住所・お電話番号・社名）		
販売店様情報 （ご住所・お電話番号・社名）		

この度は、ドライブレコーダー「PRO-WITNESS II」をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
 本保証書記載の条件に従い、上記商品に対する保証サービスをご提供申し上げます。
 ※各項目に記入の無い保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認の上、記入漏れの事項がありましたら、直ちにお買い上げの販売店にご連絡ください。
 ※本保証書は、保証期間中に大切に保存していただき、保証サービスをご請求の際にご提示ください。
 ※本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
 ※修理などにつきましては、詳しくはお買い上げの販売店までお問い合わせください。

商品についてのお問い合わせは
 お買い求めの販売店までお問い合わせください。

〒104-0032
 東京都中央区八丁堀2-29-11 三雄舎ビル4F
 株式会社ドライブ・カメラ